

会 告 目 次

研究発表会開催通知	2
第 82 回 ソフトウェア工学研究会	2
第 53 回 オペレーティング・システム研究会	3
第 39 回 数値解析研究会	4
第 70 回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会	4
第 60 回 設計自動化研究会	4
第 54 回 グラフィクスと CAD 研究会	6
第 12 回 音楽情報科学研究グループ	6
平成 3 年度研究賞の表彰	8
「知識のリフォーメーション—知識表現と学習の新方向—」シンポジウム開催について	12
平成 3 年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について	13
「利用者指向の情報システム」シンポジウム開催について	15
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」開催について	18
「情報専門学科のコアカリキュラム—その内容、運用と問題点—」シンポジウム開催について	21
「1992 情報学シンポジウム」開催について	23
「第 33 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	26
第 6 回「大学と科学」公開シンポジウム	29
「知能ソフトウェア工学の動向と展望」シンポジウム開催について	30
小規模国際会議論文募集	31
「1992 年並列処理シンポジウム JSPP '92」論文募集	32
CG International '92 開催と論文募集のご案内	33
有料会告について	34
論文誌および欧文誌のご購読について	35
支部だより	36
本会協賛等の行事案内	38
会議案内	39
教官募集	41
雑 報	42

研究発表会開催通知

(平成3年11月15日～12月31日)

研究会	日 時		会 場	備 考
自然言語処理	11月15日(金)	10:00～17:15	NTT(武蔵野)	前号参照
コンピュータと教育	11月15日(金) 11月16日(土)	12:30～17:45 9:00～12:45	九工大	同上
情報学基礎	11月19日(火)	10:00～16:40	情報大	同上
プログラミング—言語・基礎・実践—	11月21日(木) 11月22日(金)	10:00～17:00 10:00～17:00	工技院	同上
計算機アーキテクチャ	11月21日(木) 11月22日(金)	13:00～17:00 9:30～15:30	香川短大	同上
コンピュータビジョン	11月22日(金)	10:00～16:30	千葉大	同上
アルゴリズム	11月22日(金)	13:00～17:00	神戸大	同上
人工知能	11月26日(火)	10:20～16:30	機械振興会館	同上
人文科学とコンピュータ	11月29日(金)	10:00～17:30	川崎市民 ミュージアム	同上
記号処理	11月29日(金)	13:00～17:00	電通大	同上
ソフトウェア工学	12月3日(火)	9:00～17:00	機械振興会館	下記参照
オペレーティング・システム	12月6日(金)	10:00～16:00	同上	同上
数値解析	12月6日(金)	13:30～17:00	同上	同上
マイクロコンピュータと ワークステーション	12月12日(木)	13:30～17:00	同上	同上
設計自動化	12月12日(木) 12月13日(金)	9:00～17:45 9:00～15:45	いこいの村 びわ湖	同上
グラフィクスとCAD	12月20日(金)	10:00～16:00	機械振興会館	同上

◆ 第82回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 12件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大蒔和仁)

日 時 平成3年12月3日(火) 9:00～17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車,
バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211)

議 題

—9:00～11:40—

(1) ソフトウェアの分散開発のモデル化の試み 岡田世志彦, 飯田 元, 鳥居宏次 (阪大)

永岡 渡, 梅本 肇 (日立西部ソフトウェア), 酒井睦雄 (日立)

〔概要〕 実際のプロジェクトの事例をもとに, ソフトウェアの分散開発のモデル化を行い, その問題を検討。

(2) ソフトウェア分散開発におけるシステム開発上流工程でのソフトウェア分割方式

塚本幸辰, 松本啓之亮 (三菱電機)

〔概要〕 大規模ソフトウェアを分散的に開発する際の上流工程でのソフトウェア分割手法。

- (3) プロトタイピングによるマイコンソフトウェア開発手法 五十嵐真悟 (東芝)
〔概要〕 組込みマイコン用ソフトウェア開発に対し、プロトタイピングを適用した手法。

- (4) オブジェクト指向パラダイムに基づく C++ プログラミング環境 劔地賢一 (豊橋技科大)
〔概要〕 C++ のプログラマにオブジェクト指向プログラミングを意識させるような開発環境の構築。

- (5) 円卓: オブジェクトベースのメソッド独立機能 横山岳浩 (ソニー)
〔概要〕 メソッドおよびその管理系を DB サーバ側にもたせ、APP の本体のコードと独立させる機能。

—12: 50~17: 00—

- (6) マルチカラムメニューとプルダウンメニューの実験的評価 李美雲 (阪大), 下出協子 (三菱電機), 山本康友, 魚井宏高, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)
〔概要〕 プルダウンメニューに対して、マルチカラムメニューは選択効率においてすぐれているという結果。

- (7) 横配置型メニューを用いた階層型ポップアップメニュー方式の提案とその評価 山本康友, 魚井宏高, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)
〔概要〕 項目を横方向に配置するメニュー方式を組み入れた 4 種類の階層型メニュー方式の実験的比較。

- (8) 定量的プロジェクト管理のための開発計画作成支援システム 牛尾亘綱, 松本健一 (阪大), 築場 豊 (SRA), 鳥居宏次 (阪大)
〔概要〕 定量的なプロジェクト管理を目指した開発計画作成支援システム SQUARE の構成と主な機能。

- (9) Measurement-based Controlling in Project Management System 松本健一, 楠本真二, 菊野 享, 鳥居宏次 (阪大)
〔概要〕 定量的なプロジェクト管理を目指したプロジェクト制御支援システムの構成と主な機能。

- (10) プロセス分解代数に基づくデータフロー図の段階的詳細化について 鈴木英明, 高橋直久 (NTT)
〔概要〕 ソフトウェアの段階的詳細化設計における DFD に対するプロセス分解代数の提案と、その特徴の議論。

- (11) 通信プロトコルの自然語仕様から抽象的順序機械型の代数的仕様への変換法について 石原靖哲, 関 浩之, 嵩 忠雄 (阪大)
〔概要〕 通信プロトコルの自然語仕様の意味を忠実に表現した代数的仕様を、抽象的順序機械型の仕様に変換。

- (12) 拡張有限状態機械でモデル化された通信プロトコルの一検証法とそれに基づく検証システム 白川 理, 樋口昌宏, 関 浩之, 藤井 護, 嵩 忠雄 (阪大)
〔概要〕 レジスタを含む通信プロトコルの一検証法の提案と、それに基づく検証システムの概要ならびに検証例。

◆ 第 53 回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数: 6 件)

(主査: 吉澤康文, 幹事: 清水謙多郎, 園部正幸, 田胡和哉)

日 時 平成 3 年 12 月 6 日 (金) 10: 00~16: 00
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
議 題

—10: 00~12: 00—

- (1) ユーザプログラムによるカーネル外仮想記憶管理 新井克也, 小野 論 (NTT)
〔概要〕 多重スレッド実行環境下における仮想空間の再利用に基づく記憶管理の最適化手法。

- (2) 並列オペレーティング・システム K1 の設計と実現 今村信貴, 桑山雅行, 宮崎輝樹, 林 茂昭, 福田 晃 (九大), 富田真治 (京大)
〔概要〕 K1 の負荷分散方式とマルチプロセッサ WS の BE 上での実装状況。

- (3) 適応型ロックを用いた並行プロセスのコスケジューリング機構の実現法 三栄 武, 高橋直久 (NTT)
〔概要〕 密結合型並列計算機における細粒度プロセスの動的なコスケジューリング機構の実現法と特性。

—13: 30~16: 00—

- (4) Mach 上でのリアルタイムイベント通知の実現 中島 淳, 矢崎昌朋, 松本 均 (富士通)
〔概要〕 非同期イベント通知とリアルタイムスケジューリングによる Mach の multimedia/realtime 化。

- (5) 分散システムにおける静的負荷分散方針 小澤孝之, 亀田壽夫 (電通大)
〔概要〕 全体最適化方針ほど集中的でなく、個別最適化方針ほど分散的でない負荷分散方針を提案し、性能を比較。

- (6) クラスタシステムのための通信方式 根岸 康, 田胡和哉, 干場美佳子 (日本 IBM)
〔概要〕 複数計算機を結合したクラスタシステム向きに、ファイルバッファ間の直接転送により通信効率を改善。

◆ 第 39 回 数値解析研究会

(発表件数：5 件)

(主査：浜田穂積，幹事：関口智嗣，土谷 隆，吉原郁夫)

日 時 平成 3 年 12 月 6 日 (金) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題

- (1) 最適な近似式の形の選択について 浜田穂積 (電通大)
〔概要〕 関数の近似式の形として，具体的に最良近似式を求める前に，最適な混合形近似式を選ぶ方法。
- (2) 指数長が長い浮動小数点演算ライブラリ 小嶋 卓 (静岡大)
〔概要〕 指数部が 32 ビットで，オーバフローの上限が調整でき非数をもサポートするライブラリを作成。
- (3) べき乗法による 3 次元配列の非負外積展開の計算 村上 純，鄧 天波，田所嘉昭 (豊橋技科大)
〔概要〕 3 次元デジタルフィルタの設計に必要な 3 次元配列の非負外積展開をべき乗法を用いて計算。
- (4) 機能/回路混合系シミュレーション手法 平井千秋，渡辺俊典，林 晋一 (日立)
〔概要〕 回路解析は大規模行列演算を繰返すため長時間を要す。系の一部を関数表現し高速化する手法を提案。
- (5) 連立一次方程式の並列計算 福井義成 (東芝)，川端裕一 (東芝CAEシステムズ)
〔概要〕 連立一次方程式の並列計算アルゴリズムを考察，CRAY Y-MP のマルチタスキングを用いて性能評価。

◆ 第 70 回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会

(発表件数：5 件)

(主査：加藤肇彦，幹事：金子博昭，水治義弘，山田 剛)

日 時 平成 3 年 12 月 12 日 (木) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集：移動体搭載用マイコン

- (1) データネットワーク型エレベータ制御システム 岩田茂実，河合清司，安藤 宏 (三菱電機)
〔概要〕 エレベータの処理機能を複数のマイコンに分散し，これらを直列伝送によって結合したシステムを開発。
- (2) 自動車エンジン・パワートレイン制御ソフトウェア 徳田博厚 (日立)
〔概要〕 自動車エンジン・パワートレインを制御する制御ソフトウェアの構造およびソフトウェア開発ツール。
- (3) 航空機用ジェットエンジンデジタル制御システム 安田友芝，川崎 洋 (石川島播磨重工業)
〔概要〕 航空機用ジェットエンジンデジタル制御システムとその異常診断の概要，最近の研究開発例。
- (4) 車載マイコンによる列車制御 (ATP-SP システム) 長谷川豊，中村英夫 (鉄道総研)
〔概要〕 列車運転の安全性向上と高機能化を目的として開発中の車載マイコンによる制御システム。
- (5) 艦載用マルチプロセッシングシステム 中島 務，藤浪清久，川添博道 (三菱電機)
〔概要〕 マルチプロセッシング方式を用いた艦載情報処理装置。

◆ 第 60 回 設計自動化研究会

(発表件数：26 件)

(主査：小澤時典，幹事：川戸信明，佐藤政生，村岡道明)

日 時 平成 3 年 12 月 12 日 (木) 9:00~17:45

13 日 (金) 9:00~15:45

会 場 いこいの村びわ湖 第 2 ホール

〔大津市山上町 775-6，京都駅より JR (湖西線)：西大津 (15 分) 下車，徒歩 12 分 (西側，皇子ヶ丘公園の上)，または京阪電車 (石坂線)：皇子山下車，徒歩 10 分。Tel. 0775 (24) 1515〕

議 題 ーシンセシス，機能・論理シミュレーションー

12 月 12 日 (木) ー9:00~12:00ー

- (1) An Integer Programming Approach to Instruction Set Selection Problem for ASIPs Alauddin Alomary，今井正治 (豊橋技科大)
〔概要〕 特定用途向きプロセッサ (ASIP) の命令セットの選択問題を解く整数計画法のアルゴリズム。
- (2) A Language for Designing a Regular Topology of VLSI Module Generators Vasily G. Moshnyaga，安浦寛人 (京大)
〔概要〕 アルゴリズム設計時に回路のレイアウト情報を与えてデータパス系の規則的な設計を得るための言語。
- (3) パイプライン・プロセッサ向け論理記述言語の考察 清水嗣雄，影山直洋，黒田理香子，庄内 亨 (日立)
〔概要〕 汎用計算機や VLSI プロセッサに用いられるパイプライン制御方式を対象とする論理記述言語。

(4) 高位仕様記述からの専用プロセッサ設計における機能設計について 北畠宏信, 白井克彦 (早大)

〔概要〕 高位の仕様記述から専用プロセッサ設計を行う設計支援システムの機能設計。

(5) 動作記述に条件分岐を含むデータパスの高位レベル合成アルゴリズム

大橋尚子, 若林真一, 吉田典可 (広島大)

〔概要〕 動作記述に条件分岐を含むデータパスに対し, 実行時間の期待値の最小化を目的とする合成手法。

(6) 機能合成システム Cyber: スケジューリングとデータパスアロケーション手法

若林一敏 (日電), 田中弘人 (NSIS), 藤田友之 (日電)

〔概要〕 機能合成システム Cyber のスケジューリング手法とデータパスアロケーション手法の改良。

—13:00~17:45—

(7) レジスタ転送レベルからのデータパス合成の一手法

高橋端樹 (シャープ)

〔概要〕 演算器のコストだけでなく転送路のコストをも考慮したデータパス合成のアルゴリズム。

(8) VLSI Circuit Synthesis Based on Algorithm Description with the Constraints of Time and Area

徐行俟, 石塚 満 (東大)

〔概要〕 アルゴリズム記述に基づく時間と面積制約下で VLSI 回路構成を生成する新しい手法。

(9) 宣言的仕様記述からの制御回路の自動合成

手嶋茂晴, 佐野範佳 (豊田中央研究所)

〔概要〕 制御部分の宣言的仕様から状態遷移を得る手法。

(10) プロセス記述による非同期式制御回路合成の一手法

籠谷裕人, 南谷 崇 (東工大)

〔概要〕 動作仕様を非同期プロセッサとして記述し, 一連の変換によって非同期式制御回路を合成する手法。

(11) リテラル数推定手法を用いた有限状態機械合成方法 平塚憲晴, 清水嗣雄, 島 和正, 戸次圭介 (日立)

〔概要〕 生成される多段論理のリテラル数を推定する手法を用いた, 有限状態機械の合成方法。

(12) 順序回路からの算術演算機能の抽出

大村昌彦, 安浦寛人, 田丸啓吉 (京大)

〔概要〕 レジスタ等を含む回路のゲートレベルの記述から算術演算機能を抽出する手法。

(13) 端子位置を考慮した論理多段化

矢野純一, 安浦寛人, 田丸啓吉 (京大)

〔概要〕 端子位置を考慮した論理多段化の手法とその評価結果。

(14) 二線式論理回路の多段合成に関する一考察

高橋隆一, 張 長 江, 南谷 崇 (東工大)

〔概要〕 高信頼化設計, 超高速設計に有用な二線式論理回路の多段合成を行う手法。

(15) ファンイン数最小化による論理回路最適化

藤田昌宏 (富士通研)

〔概要〕 各ゲートの入力数を論理関数を考慮して最小化する手法とそれを用いた論理回路最適化。

12月13日(金)

—9:00~12:00—

(16) 大規模組合せ論理のブール最適化

藤本徹哉 (シャープ)

〔概要〕 許容関数を用いた論理合成手法を大規模論理に適用する手法, その効果の実験結果。

(17) 疑似許容関数を用いた多段論理最適化

東田基樹 (三菱電機)

〔概要〕 MSPF のスーパーセットである疑似許容関数と呼ぶ関数を用いたトランスダクション法。

(18) enumeration による二分決定グラフ構成法

伊藤雅樹, 西田隆夫, 清水嗣雄 (日立)

〔概要〕 組合せ回路の実現する論理関数を表す二分決定グラフを enumeration により構成する手法。

(19) 二分決定グラフからの非冗長積和論理の高速生成法

湊 真一 (NTT)

〔概要〕 論理関数の表現法である二分決定グラフから, 非冗長積和論理を高速に生成する手法。

(20) 二分決定グラフからの組合せ論理回路の合成

石浦菜岐佐 (阪大)

〔概要〕 論理関数の二分決定グラフ表現から直接組合せ論理回路を合成する一手法。

(21) Optimization of Multiple-Valued AND-EXOR Expressions using Multiple-Place Decision Diagrams

笹尾 勤 (九工大)

〔概要〕 AND-EXOR 形論理式の一つである疑似クロネッカ論理式の最簡形式を多分岐判定図により求める方法。

—13:00~15:45—

(22) Boolean Unification の組合せ論理合成への応用

久木元裕治 (東大), 藤田昌宏 (富士通研)

〔概要〕 組合せ論理回路のさまざまな問題が Boolean Unification を用いることで統一的に扱えることを示す。

(23) CPU コアを内蔵するシステム LSI の論理シミュレーション方法

山田靖憲 (日立)

〔概要〕 CPU コアは動作レベルで, 設計論理は機能/ゲートレベルで論理シミュレーションを行う方法。

(24) 多重論理設計誤りを対象とする自動追跡手法

上田伸人, 菅沼直昭 (神戸大), 山本 保 (東芝), 富田昌宏 (神戸大)

〔概要〕 多出力回路において, 多重の論理設計誤りをゲート・信号線単位で見逃しなく追跡する手法。

(25) 最小・最大遅延モデルを用いた論理回路の検証について 加島重見, 木村晋二, 羽根田博正 (神戸大)

〔概要〕 最小・最大遅延の間のすべての遅延に対する動作を集合として扱い正確な検証を行う手法。

(26) 論理関数処理を用いた分岐時間正則時相論理による順序機械の設計検証

濱口清治 (京大), 平石裕実 (京産大), 矢島脩三 (京大)

〔概要〕 分岐時間正則時相論理を仕様記述言語として用いた, 論理関数処理に基づく順序機械の設計検証手法。

*今回の研究会は電子情報通信学会 (VLSI 設計技術研究会) との共催で開催されます。

*12日の研究会終了後, 懇親会を予定しています。奮ってご参加ください。懇親会 (6,000円程度) にご参加なされる方, ならびに12, 13日に昼食 (各1,000円) を会場にとられる方は下記連絡先に11月29日 (金) までに一報ください。

連絡先: 169 新宿区大久保 3-4-1 早稲田大学理工学部 電子通信学科 佐藤政生
Tel. 03 (3203) 4141 内 3422 Fax. 03 (3200) 2567 e-mail: sato@cfi.waseda.ac.jp

*いこいの村の宿泊申込は部屋数が少ないため, なるべく4~5人のグループ単位で, 本研究会に参加される旨を添え, 直接いこいの村へご連絡ください。

◆ 第54回 グラフィクスとCAD研究会

(予定発表件数: 7件)

(主査: 中嶋正之, 幹事: 宇野 栄, 西原清一, 間瀬健二)

日 時 平成3年12月20日 (金) 10:00~16:00
会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室 (所在地は前記参照)
議 題

- (1) チュートリアル: ポリウムレタリングについて 中嶋正之 (東工大)
- (2) 検出もれのない曲面交線の追跡法 谷口行信 (東大)
- (3) 対数利用の演算法による円描画の誤差 黒河富男 (愛知工大)
- (4) バウンドラインプロセス 光本浩士, 田村進一 (阪大), 岡田広幸, 増山 博 (宮崎大)
- (5) Lie 群理論による不変量の抽出: パターン認識への応用
James Cole (Naval Research Lab.), 村瀬 洋, 内藤誠一郎 (NTT)
- (6) 遺伝的アルゴリズムを用いたパターンマッチング法 長尾智晴, 安居院猛, 長橋 宏 (東工大)
- (7) Homogeneous Neural Networks for Principal Component Analysis

Erkki Oja, 小川英光, Ojaroonsakdi Wangviwattana (東工大)

*今回の研究会は電子情報通信学会 (パターン認識・理解研究会) との共催で開催されます。上記会告は10月16日現在の申込みによるもので上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌11月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第12回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 14件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成3年12月8日 (日) 11:00~21:00
会 場 音楽之友社ホール
〔東京都新宿区神楽坂 6-30, 地下鉄 (東西線): 神楽坂下車, 徒歩5分. Tel. 03(3235) 2111 (代)〕
電楽「コンピュータ音楽の現在・未来展」

—11:00~16:00—

● 第1部: コンピュータ ミュージック エキシビジョン
——先端テクノロジーとアートの融合・21世紀における音楽創造

- (1) ミュージック・シアターのための Hyper System N 長嶋洋一 (河合楽器), 中村滋延 (京都芸術短大)
〔概要〕 各種センサを使って, パフォーマンスの諸動作を実時間に音楽情報に変換するシステム。
- (2) NeXT コンピュータ+IRCAM・ミュージカル・ワークステーション
菜 孝之 (国立音大), コート・リッピ (IRCAM), (協力: (株) キヤノン, (株) 丸文)
〔概要〕 i860 を複数使った最高速の DSP システムと IRCAM で開発されているソフト。
- (3) ミディア・見えない鳥 堀井洋一 (日立), 松本日の春 (東京芸大), (協力: (株) ミディア)
〔概要〕 コンピュータを電子音楽・器楽音楽の発想融合の楽器と考えたオリジナルソフトの開発。

- (4) 風の音・時の音 嶋津武仁 (福島大)
〔概要〕 最小のシステムでのリアル・タイムの「現代音楽」風インプロビゼーション。
- (5) CAMEO INTERACTIVE, LTD. 村井清二, 常盤野司, 浦野孝裕 (カメオインタラクティブ)
〔概要〕 MIDI, デジタルオーディオの各レコーディング, プログラミングなどの機能を持つ創造ツール。
- (6) VISISOUNDER 森本浩正 (作曲家), 藤井浩美, 望月和広, 塚田ひとみ, 柴多直樹, 藤本正樹 (日電)
〔概要〕 リアルタイムで音と映像を連動し一体化させるシステム。
- (7) データグローブを用いた仮想楽器 佐藤明男, 橋本周司, 大照 完 (早大)
〔概要〕 データグローブをはめたパフォーマの自由なジェスチャによる MIDI のリアルタイム制御。
- (8) 指揮者の指揮に従うコンピュータミュージックシステム 原田 勉, 森田秀之, 橋本周司, 大照 完 (早大)
〔概要〕 「目」を持つ MIDI オーケストラを指揮棒でコントロール。
- (9) OtKINSHI (おっきんしゃい) 小坂直敏 (NTT), (協力: (株) キヤノン販売)
〔概要〕 信号処理技術による音素材の多様な加工が可能な NeXT 上でのオリジナル音素材開発装置。
- (10) MUSIC DRILL 岡 雅章 (河合楽器)
〔概要〕 ゲーム感覚のドリル「音楽 Q&A」と、発表用ツール「音楽黒板」とからなる CAI システム。
- (11) お絵かきくん 橋本哲也 (美鈴エリー)
〔概要〕 マウスで描いた絵をもとに、音階、音質、音量を決定し、MIDI 信号にて演奏。
- (12) Play in Computer Music 嶋津武仁 (福島大), 坪能由起子 (東京芸大)
〔概要〕 パソコンのキー操作によりさまざまな音色、和音などを発生させ、自由な演奏を行う。
- (13) AUDIO WINDOW Michael Cohen, 小泉宣夫 (NTT), (協力: (株) キヤノン販売)
〔概要〕 音源の位置や特徴をグラフィックウィンドウにより動的に変化させてパイノーラル信号を操作、制御。
- (14) 京劇 —俳優と音楽のシンクロ— 高澤嘉光, 杉谷大輔 (電通大)
〔概要〕 京劇に出演する俳優が自分のパフォーマンスに合わせて、遠隔操作できる演奏システム。
- *各出品者(組織)ごとにブースが割り当てられ**時間中提示**されています(無料)。なお、講演は予定していません。

—17: 00~21: 00—

● 第2部: コンサート

第1部の(1), (3), (4), (6), (7)の各システムを使用しての演奏 (有料 2,000 円)。

*今回の例会は日本現代音楽協会と共催で開催されます。お問合せは下記までお願いします。

問合せ先: 小坂直敏 (NTT 基礎研) Tel. 0422 (59) 2967 e-mail: osaka@siva.ntt.jp

◆ ソフトウェア工学研究会

今後の研究会活動予定は以下のとおりです。多数のご発表、ご参加をお待ちしています。

日 程	会 場	発表申込締切日
● 第83回 平成4年2月6日(木)・7日(金)	東北大・通研	12月2日(月) 必着
● 第84回 平成4年3月3日(火)	機械振興会館	12月25日(水)

◆ オペレーティング・システム研究会

ダウンサイジングのトレンドの中で、いまや大型汎用計算機の基本ソフトウェアだけでなく、ワークステーション、パソコンなどの基本ソフトウェアにとっても、高性能化・高信頼化が重要目標になってきました。

そこで、来春の研究発表会は、下記の特集を組んで開催いたします。機種の大小にかかわらず関連発表を歓迎いたしますので、奮ってご応募ください。

日 程 平成4年3月13日(金)

会 場 機械振興会館 6階 67号室

議 題 特集: 高性能ワークステーション, 高性能化技術, 高信頼化技術, 性能評価

発表申込締切 平成3年12月20日(金) 必着

*研究会に発表をご希望の方は、研究会発表申込書(8月号本欄末添付)に発表題目と発表者名、46字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

平成3年度研究賞の表彰

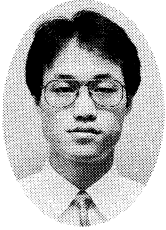
研究賞は、本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られるものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

この賞は研究会活動活性化の施策に基づき、昭和62年度から新設され、本年度は去る10月20日に名古屋大学で開催された第43回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が下記の11君に授与されました。

本賞の選考は、表彰規程、研究賞受賞候補者選定手続および研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長榎本肇）が選定委員会となって行います。今年度は表彰対象の11研究会（21研究会を奇数歴年度組と偶数歴年度組に分け、本年度は前者、来年度は後者の隔年表彰）の主査から推薦された計11編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第355回理事会（平成3年6月）の承認を得て決定されたものです。

● 国語辞典の語義文からの動詞の上位-下位関係の抽出

[89-NL-73 (1989. 6. 29)]



高浦 洋一君（正会員）

従事。

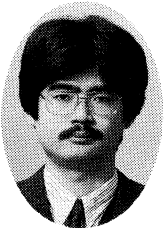
昭和36年生。昭和59年九州大学工学部電子工学科卒業。昭和61年同大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。平成元年同大学院博士課程単位修得退学。現在、九州大学工学部助手。自然言語処理の研究に

〔推薦理由〕

自然言語処理には大容量な言語知識が必要であるが、これを人手で作成するのは困難である。最近では、機械可読な辞書データの入手が容易になったこともあり、これらのデータから自然言語処理に有用な情報を自動的に抽出しようとする研究が盛んに行われている。本論文は、これまであまり試みられなかった動詞間の上位-下位関係を国語辞典から自動的に抽出する手法について述べている。手法の有効性の検証はこれからの課題であるが、目的の重要性と手法の独自性という点で本論文は研究賞に値する。

● 実例に基づく翻訳 II

[90-AI-70 (1990. 5. 9)]



佐藤 理史君（正会員）

特に、機械学習、自然言語処理に興味を持つ。人工知能学会、認知科学会、ソフトウェア学会各会員。

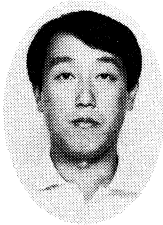
1960年生。1983年京都大学工学部電気工学第二学科卒業。1988年同大学院工学研究科博士課程（電気工学第二専攻）研究指導認定退学。同年より京都大学工学部電気工学第二教室助手、現在に至る。人工知能、

〔推薦理由〕

計算機性能の向上にともない、時間的にも空間的にもかなりの量のデータを処理することが可能になってきた。そのような状況の中で、規則学習を補完するものとして記憶に基づく推論は大いに将来性を期待される。本研究は1989年11月の「学習のパラダイムとその応用」シンポジウムの論文「Memory-Based アプローチと規則学習」で示した実例に基づく推論手法を、機械翻訳という実用的課題に適用し、その長所と技術的問題点を明らかにしている点で、高く評価できる。

● ソフトウェア仕様化・設計の方法論の形式化について

(90-SE-72 (1990. 5. 29))



佐伯 元司君 (正会員)

昭和 31 年生. 昭和 53 年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業. 昭和 58 年同大学院博士課程情報工学専攻修了. 同年東京工業大学工学部情報工学科助手. 昭和 63 年同大学工学部電気電子工学科助教授. 工学

博士. ソフトウェア仕様記述言語や方法論, ソフトウェアプロセスなどの研究に従事.

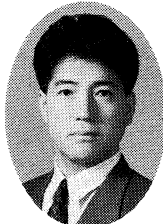
〔推薦理由〕

本研究は, ソフトウェアの仕様化や設計の方法論を対象として, イベント, プロセス, データなど, どの方法論も有している基本的要素を尺度とし, それらの尺度による方法論の分類を試みている. さらに, 基本要素の間の制約を与えるのが方法論であると定義している. そして, ある方法論によって仕様を作成する過程は, 制約を公理と考えた場合の定理を求める証明の過程であるとして, 実例を示した. この提案は直観主義論理における手法を, ソフトウェア工学における方法論に適用した点で, 方法論の分類とともに高く評価できる.

● ハイパースカラ・プロセッサ・アーキテクチャ

—汎用スーパーコンピュータ— VLIW— ベクトル・アーキテクチャー

(91-ARC-87 (1991. 3. 11))



村上 和彰君 (正会員)

1960 年生. 1982 年京都大学工学部情報工学科卒業. 1984 年同大学院修士課程修了. 同年富士通(株)本体事業部に入社, 汎用計算機 M シリーズのアーキテクチャ開発に従事. 1987 年九州大学工学部助手, 1988 年

来, 可変構造型並列計算機 KRPP, スーパーコンピュータ「新風」および DSNS, ベクトル・プロセッサ「順風」, グラフィックス・プロセッサ「熱視線」, 並列化コンパイラ IPC の研究開発に従事. 計算機アーキテクチャ, 並列処理, 並列化コンパイラ, 性能評価等に興味を持つ. 電子情報通信学会, 日本応用数理学会, ACM, IEEE, IEEE-CS 各会員.

同大学院総合理工学研究科助手, 現在に至る. 1987 年以

〔推薦理由〕

RISC 後の VLSI プロセッサ・アーキテクチャとして, スーパーコンピュータ方式が近年注目され盛んに研究開発が行われているが, 本論文の著者が本方式の研究に先鞭をつけたことは特筆に値する. 本論文では, 著者がこれまでに実際に開発してきた各種命令レベル並列処理プロセッサの経験を踏まえて, これら従来方式の長所を活かしながら短所を解消する新しいプロセッサ・アーキテクチャを提案している. 本方式のアイデアは興味深く, かつ, 実用性に富んでおり, 今後の VLSI プロセッサ設計に対して大きく貢献するものと期待される.

● パノラマ表現を用いた移動ロボットの経路認識

(90-CV-64 (1990. 1. 25))



鄭 緯宇君 (正会員)

昭和 36 年中国上海生. 昭和 58 年中国復旦大学コンピュータ科学系卒業. 同年度同大学院入学. 昭和 59 年大阪大学に留学. 昭和 62 年同大学院基礎工学研究科修士課程修了. 平成 2 年同大学院博士課程修了. 工学

博士. 現在, ATR 通信システム研究所奨励研究員. 3次元画像処理, ロボットビジョンの研究に従事.

〔推薦理由〕

本研究は, ロボットの位置決め問題に対して, ロボットが経路に沿って移動しながら連続撮像した画像を堆積して得られる時空間画像に着目し, その垂直切断面(パノラマ画像)に十分な経路情報が含まれていることを明らかにしていること, そして, 経路のパノラマ画像をそのままモデルとして記録し, ロボットが再び同じ経路を通る際に観測されるパノラマ画像とモデルのパノラマ画像との対応を動的計画法によって求めることによって, その経路におけるロボットの位置を容易に求めることができる従来にはない斬新な手法の提案が評価される.

● 形式記述技法を用いた適合性試験システム

[91-DPS-49 (1991. 3. 7)]



勝山光太郎君 (正会員)

電子情報通信学会会員。

昭和 29 年生。昭和 51 年大阪大学基礎工学部制御工学科卒業。同年三菱電機(株)入社。現在、同社情報電子研究所システム技術開発部。入社以来、通信ソフトウェアの開発、分散処理システムの研究開発に従事。

〔推薦理由〕

形式記述技法の適合性試験に対する適用は、国際的にも研究が開始されたところである。本論文で提案の形式記述技法を利用した通信ソフトウェアの体系的試験支援環境は、標準化された形式記述技法を試用的に利用しているだけでなく、プロトコル仕様から試験シーケンスを自動生成し、実際に試験を実施している点に特徴がある。更に、試験仕様書と試験成績書の作成を支援する系も実現し、形式記述技法が通信ソフトウェア開発上有効であることを実証しており、計算機ネットワーク構築における優れた研究として研究賞に値する。

● CG による江戸城の復元

[90-CG-47 (1990. 10. 19)]



杉本 和敏君 (正会員)

テム・インスティテュート勤務。コンピュータ・グラフィックス、イメージ処理、マルチメディア・システムの研究開発に従事。電子情報通信学会、ACM 各会員。

昭和 28 年生。昭和 51 年早稲田大学理工学部応用物理学科卒業。昭和 53 年同大学院修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)東京サイエントフィック・センター入所。現在、東京基礎研究所メディア・シス

〔推薦理由〕

コンピュータグラフィックス (CG) による画像生成技術の応用分野の一つに、ビジュアルシミュレーションがある。本論文は、CG による江戸城のアニメーション作成をテーマに、膨大なデータの効率的な管理およびレンダリングの高速化高品質化を計りつつ、時代考証にできるだけ忠実な復元を目指すという、大規模かつ本格的なビジュアルシミュレーションの実現例として貴重な報告である。また、人文科学、歴史学、教育などの分野における CG の重要性和有効性をアピールした点も高く評価できる。

● 条件部に無限集合をもつメンバシップ条件付き TRS の合流性について

[90-SF-35 (1990. 5. 24)]



山田順之介君 (正会員)

電子情報通信学会、EATCS 各会員。

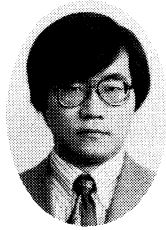
1958 年生。1986 年東京大学理学部数学科卒業。同年より NTT 基礎研究所、1991 年 7 月より同コミュニケーション科学研究所勤務。項書換え系、定理自動証明、プログラムの合成・変換・検証に興味を持つ。

〔推薦理由〕

項書換えシステム (TRS) の合流性は、TRS をプログラミング言語とみなしたときに、計算が停止すれば途中の計算の戦略によらずに結果が一致することを保証する重要な性質である。本研究では TRS の拡張である条件部に無限集合をもつメンバシップ条件付き TRS について合流性が成り立つための強力な十分条件を与えている。さらにこの結果の応用として、再帰的に定義された関数について停止性およびその他の性質の証明を与えている。本研究はソフトウェアの基礎理論への優れた寄与であり、研究賞に値する。

● アクターモデルにもとづいた並列自己反映計算モデル

(89-PL-23 (1989. 12. 8))



渡部 卓雄君 (正会員)

昭和 38 年生。昭和 61 年東京工業大学理学部情報科学科卒業。平成 3 年同大学院理工学研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。現在、日本学術振興会特別研究員 (PD) として東京大学理学部情報科学科に所

属。平成 3 年 9 月より、イリノイ大学計算機科学科客員研究員。自己反映計算 (リフレクション)、並列計算/分散システムに関するモデル/理論/言語、および計算機音楽に興味を持つ。日本ソフトウェア科学会、ACM、音楽情報科学研究会各会員。

〔推薦理由〕

オブジェクト指向の分野は、日本が世界をリードする位置にある。発表者は、そうした研究者の一人であって、オブジェクト指向での柱一並列性、継承性、メッセージ通信、自己反映—のいくつかを究明し続けてきた。この論文では、「自己反映」に着目し、とくに分散環境でのオペレーティングシステムへの応用を意図して、これまでの成果の上に洗練した形での計算モデルを提示し、詳しく論じた。今後の発展性に富んだ研究として高い評価を得たことから今回の授賞となった。

● 知的 CAI における高度個別化に関する研究

(90-CE-10 (1990. 4. 25))



大槻 説乎君 (正会員)

1932 年生。1955 年京都大学理学部物理学科卒業。同年同大学院理学研究科入学。1956 年京都大学基礎物理学研究所助手。その後名古屋大学、九州大学を経て、現在、九州工業大学情報工学部知能情報工学科教授。

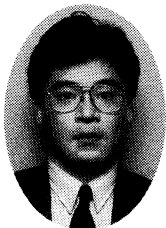
知識情報処理、特に知的 CAI、ヒューマン・マシン・インタフェースに興味を持つ。人工知能学会、電子情報通信学会、日本教育工学会、CAI 工学会各会員。

〔推薦理由〕

本研究は認知科学・教育学・工学の立場から教授・学習・理解について考察し、個人差に適応した学習環境の独創的実現法を提案した。まず個人差を表現する測度を導入し、適応環境を提供する工学モデルを提案した。次にこのモデルを実現するための知識表現・誤り原因同定法・学習者モデル・教授パラダイムを用いたシステムの枠組みを明らかにした。最後に個人差に基づく対話の設計法を提案し、実験結果を報告している。知的 CAI の分野では教授と理解の本質にかかわる教授法の研究は少なく、本研究は特色ある優れたものと評価される。

● 形状情報を用いた画像の類似検索システムの試作—民族学標本を例にして—

(90-CH-5 (1990. 5. 11))



黒川 雅人君 (正会員)

昭和 35 年生。昭和 59 年京都大学工学部情報工学科卒業。昭和 61 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム (株) 入社。現在、同社東京基礎研究所東京サイエンティフィック

センター勤務。画像データベース、画像認識に興味を持つ。

〔推薦理由〕

大量の類似した資料を比較研究する民族学や考古学分野にとって、画像の類似検索は有力な手段である。この実現には計算機内での画像記述とユーザインタフェースが課題である。本研究は、画像内構成要素とその配置関係を属性付グラフ構造で統合化して類似度計算に有効に用いた。また、部分画像をサンプルとして検索者に提示し、選択・編集して検索条件画像を作成するユーザインタフェースを提案した。これらを民族学研究資料に適用し、実用化への可能性を示して応用分野に大きな刺激を与えた。重要性和独自性において研究賞に値する。

「知識のリフォーメーション—知識表現と学習の新方向—」

シンポジウム開催について

標記のシンポジウムを企画したところ多数の申し込みがあり、審査の結果、下記のようにプログラムを決定しましたのでお知らせいたします。「知識のリフォーメーション」とは、知識の効率的な表現・利用のための変化を計算機自らに行わせることであり、知識の組織化・抽象化、事例ベース推論、学習、遺伝アルゴリズムなどさまざまな立場からアプローチを図りたいと考えています。奮ってご参加ください。

日 時 平成3年11月27日(水) 9:30~17:20

28日(木) 9:30~17:00

場 所 東京大学山上会館・大会議室

主 催 情報処理学会人工知能研究会

協 賛 人工知能学会、電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会

参加費 正会員(情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会) 10,000円、非会員 15,000円、学生会員 5,000円(論文集のみ5,000円、送料込)

申込締切 11月12日(火)(定員120名に達し次第締め切らせていただきます)。

申 込 先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
(社)情報処理学会「知識のリフォーメーション」シンポジウム係

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日(11月27日(水))

シンポジウム実行委員長挨拶(9:30~9:35)

石塚 満(東大)

Session 1 知識獲得(9:35~11:05)

座長 戸沢 義夫(日本IBM)

- タスク・モデルに基づく問題解決部品の体系的な抽出—部品整理のための分類属性の同定—

中村 祐一, 堀 雅洋(日本IBM)

- CAD システムにおけるモデリングのための知識構造

石川 孝, 寺野 隆雄(筑波大)

- 深い知識間の相補性に基づく知識コンパイラの枠組み

鳥越 章夫, 山口 高平(静岡大)

Session 2 視覚情報による推論(11:20~12:20)

座長 戸沢 義夫(日本IBM)

- 視覚情報を利用した事例ベース推論方式

好川 哲人(ASTEM)

- イメージを用いた推論および学習—図を用いた算術解法の機械化—

沼尾 正行(東工大)

Session 3 サーベイ(13:20~14:20)

座長 石塚 満(東大)

- 遺伝アルゴリズム研究の最新動向

小長谷明彦(日本電気)

Session 4 遺伝アルゴリズム(14:35~15:35)

座長 小長谷明彦(日本電気)

- ニューラルネットワークからの知識抽出に関する基礎研究—GA による引込領域表現法—

鈴木 恵二, 嘉数 侑昇(北大)

- 形質遺伝を重視した GA に基づく TSP の解法

小野 貴久, 山村 雅幸, 小林 重信(東工大)

Session 5 知識の組織化(15:50~17:20)

座長 水谷 博之(東芝)

- 知識のリフォーメーションと概念構造の生成

吉田 健一, 元田 浩(日立)

- 並列オブジェクトモデルによる推論とコネクショニスト・ハイパーネットワーク

西村 和幸, 生天目 章(防衛大)

- 自己学習型エージェントモデル(自己成長型知識ネットワーク構築のための基礎モデル)

塚本 義明, 生天目 章(防衛大)

第2日(11月28日(木))

Session 6 説明に基づく学習(9:30~11:00)

座長 沼尾 正行(東工大)

- 経験に基づく学習機能を備えた仮説推論システム

牧野 俊朗, 石塚 満(東大)

- 拡張 EBL におけるメタ領域理論の利用と制御不能問題への接近

山村 雅幸, 郭 堅, 小林 重信(東工大)

- 一般化論理プログラムの部分計算による論理回路の変換ルールの合成法

馬淵 浩司, 赤間 清, 青木 由直 (北大)

座長 松原 仁 (電総研)

安西祐一郎 (慶大)

Session 7 招待講演 (11:15~12:15)

- Representations and Problem Solving

Session 8 知識の抽象化 (13:15~14:45)

座長 吉田 裕之 (富士通研)

- モデルの照合によるトークン列からの規則抽出手法の検討 倉島 顕尚 (東大), 安達 淳 (学情センター)

- バイアスを用いたマクロ・オペレータの生成

山口 智浩, 辻 三郎 (阪大)

- 一般化に基づく類推の論理プログラミングによる実現

岩山 登, 佐藤 健, 有馬 淳 (ICOT)

Session 9 パネル討論「知識のリフォーメーション」(15:00~17:00)

司会 松原 仁 (電総研)

パネリスト 原口 誠 (東工大), 山田 誠二 (阪大), 橋田 浩一 (ICOT), 山口 高平 (静岡大)

平成3年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の 納入にご協力ください

来る11月中旬に、本年度会費未納の方には、郵便振替用紙によって、再々請求のお願いをいたします。ご承知のとおり、会費は前納制（すでに多くの方がたは納入済みです）ですし、会費納入の催促は手数や郵便料がかさみ、大きな負担となっております。事情をお察しのうえ、早急にご納入くださいますよう、よろしくお願いします。

〔自動振替納入利用の会員へ〕

去る7月27日の振替日に残高不足等で振替未済の会員は、次回振替日が来年3月27日となり、会費が1年間滞納となります。すでに個々にご通知しましたが振替未済の方は会員係に連絡いただき、早急に別途ご納入ください。

「知識のリフォーメーション」シンポジウム

参加申込書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 5,000 円

*参加費には、資料代が含まれています。

○資料のみ（5,000 円、送料込）_____冊

○送金方法

- * _____ 円を a) 当日、会場受付にて支払います。
- b) _____ 月 _____ 日送金します。

*（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
（社）情報処理学会 シンポジウム係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京
営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

- ・送金先銀行名 _____ 銀行宛
- ・送金取扱銀行名 _____ 銀行 _____ 支店より
- ・送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

所属名 _____

フリガナ
氏名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

会
告

「利用者指向の情報システム」シンポジウム 開催について

情報システムが個人から一般社会にいたるさまざまな組織に広く普及・浸透してきた今日、利用者を指向した情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっています。この課題に取り組むには、組織と情報システム双方における情報の生産・流通・利用過程の絡みを幅広い視点から捉えて、情報システムの設計と構築を論じる必要があります。

以上の観点から、本シンポジウムでは、利用者指向の情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論、ならびにその具体的な適用事例や研究動向、開発事例などについて、発表・討論を行う予定です。この問題に関心を持つ研究者、利用者、設計・開発者、運用者の方々のご参加をお願いいたします。

日時 平成3年11月29日(金) 9:40~19:00 30日(土) 9:40~16:20

場所 日本ユニシス本社 (107 東京都港区赤坂 2-17-51) Tel. 03 (3585) 4111 (代)

地下鉄 千代田線赤坂下車5番出口より徒歩5分

都営バス (都 01) 新橋駅発渋谷駅行 (六本木経由) 赤坂2丁目下車徒歩5分

参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円 (論文集のみ 5,000 円)

懇親会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円 (参加費と一緒にお申し込みください。)

申込締切 平成3年11月15日(金)

~~~~~プログラム~~~~~

第1日 11月29日(金)

開会の辞 (9:40~9:50)

伊吹 公夫 (東京工科大)

招待講演 (9:50~10:50)

司会 伊吹 公夫 (東京工科大)

- 情報システムにおける標準化の諸問題

高橋 茂 (東京工科大)

一休憩 (10分)一

セッション 1 (11:00~12:30)

座長 西原 良一 (日本ユニシス)

- オープンシステム環境における統合 OA システムの開発と運用
- 企業国際トライアングル網の構築
- これからの企業内情報システムについて

渡辺 隆, 二階堂徳也 (JR 総研)

安藤 均 (NTT)

小西 尚武 (東レ)

一昼食 (60分)一

セッション 2 (13:30~15:00)

座長 高橋 富夫 (富士通)

- カード操作ツールを用いた要求分析と機能設計の事例研究—共通問題「在庫管理システムの作成」の設計—
- エキスパートシステムを適用した利用者指向の情報システムの開発について
- コンピュータマッピングをベースとしたガス本支管設計システムの開発について

土屋 光一, 塩見 彰睦, 竹田 尚彦, 河合 和久, 大岩 元 (豊橋技科大)

上西 勝也 (関西電力)

中津川 淳, 安藤 宜明 (東京ガス)

一休憩 (20分)一

パネル討論会 (15:20~17:20)

司会 鷹野 澄 (東大)

- 情報システム設計と新しい情報技術

稲泉 成彦 (日本ユニシス), 東明佐久良 (東京ガス),

竹下 亨 (日本 IBM), 橋本 茂司 (東レ)

一休憩 (10分)一

懇親会 (17:30~19:00)

第2日 11月30日(土)

セッション 3 (9:40~11:10)

座長 松谷 泰行 (多摩大)

- モデル記述言語 Object-Z の味見

谷津 弘一 (日本ユニシス)

- 情報モデルをめぐる—考察—情報システムにおける情報表現の諸問題—

中嶋 聞多 (日立)

- 大学における情報システム教育とそのカリキュラム「情報システムの教育体系の確立に関する総合的研究」

中間報告

浦 昭二 (慶大), 神沼 靖子 (帝京技科大)

—休憩 (10分)—

セッション 4 (11:20~12:20)

- 利用者指向手法による「総合 OA システム」の開発
- 電通マーケティング情報センター

座長 初瀬川 茂 (東芝)
山形 毅章 (西日本旅客鉄道)

—徹底した利用者サービスが情報システムを活性化する—

柴田 亮介 (電通)

—昼食 (70分)—

セッション 5 (13:30~14:30)

- 日本語プログラミング環境のためのエディタの開発と評価
- 航行めがねによる人間行動実時間支援システムの構想

座長 槻木 公一 (JR 総研)
宮脇富士夫, 佐藤 邦弘 (姫路工大)
大座畑重光 (マッキンゼリジェンス)

—休憩 (20分)—

セッション 6 (14:50~16:20)

- 中小企業におけるパソコン活用の方策
- 国文学研究支援のための情報システム
- SIS の現状と展望

座長 岩丸 良明 (太陽神戸三井総研)
古関 政 (群馬情報電子専門学校), 町田 庄吉 (プランニング)
安永 尚志 (国文学研究資料館)

米川 清 (三井情報開発), 会田 邦夫 (産能短大)

閉会 (16:20)



「利用者指向の情報システム」シンポジウム
参加申込書

平成3年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 1,500円

*参加費には，資料代が含まれています。

○懇親会費（3,000円） _____名

○資料のみ（5,000円，送料込） _____冊

○送金方法

* _____円を a) 当日，会場受付にて支払います。

b) _____月 _____日送金します。

* (b) を選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
(社)情報処理学会 シンポジウム係)

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____銀行宛

・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より

・送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先

情報処理学会 シンポジウム係 160 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム および併設講習会」開催について

「アドバンスト・データベース・システムシンポジウム講習会」

最近のデータベースとどうつきあうか

—先進的データベース応用の分析・設計・開発手法—

標記講習会を下記のとおり開催いたします。「最近のデータベースとどうつきあうか」と題して、ワークステーション RDBMS と Macintosh 環境の統合、オブジェクト指向 DBMS を用いた応用開発法、最近注目を集めているオブジェクト指向分析・設計法について、この分野においてご活躍中の 3 名の講師の方々に実践的な立場から解説をしていただきます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

場 所 機械振興会館大ホール（地下 2 階）

日 時 平成 3 年 12 月 4 日（水）10：00-17：15

参加費 会員 10,000 円、学生会員 2,000 円、一般 15,000 円

（講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が設定されています。参加申込書をご覧ください。）

主 催 情報処理学会データベース・システム研究会

申込締切 平成 3 年 11 月 22 日（金）

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

● 10：00～12：00

「リレーショナルデータベースシステムを用いた統合型アプリケーションの開発手法」 平山 伸一（KCS）

● 13：00～15：00

「オブジェクト指向データベースシステムを用いたアプリケーション開発」 西川夕起子（東洋情報システム）

● 15：15～17：15

「オブジェクト指向分析・設計—CASE を事例として—」 藤野 晃延（富士ゼロックス情報システム）

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」

—リレーショナルデータベースは現場で本当に役に立っているか—

標記シンポジウムを下記のとおり開催いたします。今回は RDBMS は本当に役に立っているのかという観点から、最近のメインフレーム RDBMS 事情、応用システム、RDBMS の現状と機能拡張、マルチメディアと RDB などに関するトピックが中心です。また、RDBMS の過去・現在・未来に関する基調講演や、昨年よりスタートした米国 TI 社の Open OODB プロジェクトに関する招待講演、カーナビゲーション用 DB や OODB の質問機能に関するサーベイも予定されています。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

場 所 機械振興会館大ホール（地下 2 階）

日 時 平成 3 年 12 月 5 日（木）、6 日（金）

参加費 会員 15,000 円、学生会員 3,000 円、一般 20,000 円

（講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が設定されています。参加申込書をご覧ください。）

主 催 情報処理学会データベース・システム研究会

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 12 月 5 日（木）

開会挨拶（9：00～9：10）

田中 克己（神戸大）

基調講演（9：10～10：40）

司会 金森 吉成（群馬大）

● リレーショナルデータベースの過去・現在・未来

増永 良文（情報大）

- セッション 1** 最近のメインフレーム RDBMS 情報 I (11:00~12:10) 座長 堀内 一 (日立)
 ●企業でのリレーショナルデータベースの適用 高橋 政美 (日立)
 ●リレーショナル DBMS の銀行情報系システムへの適用事例から 山田 信雄 (三和システム開発)
- 招待講演** (13:30~15:00) 司会 鶴岡 邦敏 (日電)
 ●DARPA Open OODB and OODB Research at TI Satish M. Thatte (Texas Instruments Inc.)
- セッション 2** 応用システム (15:15~16:30) 座長 北川 博之 (筑波大)
 ●農林水産ゾーンバンクにおける DBMS
 梅原 正道, 武田 尚人, 服部 紳二 (農林水産省農業生物資源研究所)
 ●人間工学データベースの要求機能* 山下 樹里 (工業技術院製品科学研究所)
 ●政策支援システム* 池田 一夫, 倉科 周介 (東京都立衛生研究所)
- 第2日** 12月6日 (金)
- セッション 3** RDBMS の現状と機能拡張 (9:00~10:45) 座長 池田 秀人 (広島大)
 ●リレーショナルデータベース管理システムの実相 芝野 耕司 (東京国際大)
 ●標準データモデル機能のモデル化概念 穂鷹 良介 (筑波大)
 ●Data-Size Reduction: Supporting Graph Algorithms on Very Large Database Relations
 Tadashi Ohmori (Kyoto University),
 Tsutomu Saitoh, Hidehiko Tanaka (The University of Tokyo)
- セッション 4** 最近のメインフレーム RDBMS 事情 II (11:00~11:55) 座長 中島 一雄 (CAC)
 ●キリンビール(株)における RDBMS 活用の事例と今後の課題 小原 覚 (キリンビール)
 ●生命保険業界でのリレーショナルデータベースの構築と活用* 富士 隆 (学習情報通信システム研究所)
 寺村 優 (安田生命保険相互会社), 西川 文雄 (明治生命保険相互会社)
- サーベイセッション** (13:00~15:00) 座長 田中 克己 (神戸大)
 ●カーナビゲーションシステム用データベース 熊本 博文ほか (住友電工)
 ●オブジェクト指向データベースの質問機能 (仮題) 吉川 正俊 (京産大)
- セッション 5** マルチメディアと RDB (15:15~17:00) 座長 牧之内顕文 (九大)
 ●MediaPreview: マルチメディア情報操作における階層的インタフェース・モデル
 清水 剛 (富士ゼロックス)
 ●マルチメディア・データベースによる音楽情報検索システム
 “Music Information System” の試作 宮井 計人, 雷 國明 (スーパーコンピュータ研究所)
 ●RDBMS を用いた図面管理システムの開発
 鈴木 郁子, 平田 律子, 岩津 正幸, 森田 昭弘, 佐原 健一 (シャープ)
 * Short Presentation

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '91 と講習会」

参加申込書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムと講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費

	講習会(12/4)のみ申込		シンポジウム(12/5.6)のみ申込		講習会とシンポジウムの両方申込	
正会員 賛助会員	T-1	10,000 円	S-1	15,000 円	TS-1	20,000 円
学生会員	T-2	2,000 円	S-2	3,000 円	TS-2	4,000 円
非会員	T-3	15,000 円	S-3	20,000 円	TS-3	28,000 円

該当する番号を○でかこむ (T-1 T-2 T-3 S-1 S-2 S-3 TS-1 TS-2 TS-3) 講習会, シンポジウムとも参加費には資料代が含まれています。

○資料のみ

(講習会 5,000 円 ___ 冊, シンポジウム 7,500 円 ___ 冊, 両方 10,000 円 ___ 冊, 送料込)

○送金方法

- * _____ 円を a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) _____ 月 _____ 日送金します。

* (b を選択したかたのみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
(社)情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (3505) 0505)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

- ・送金先銀行名 _____ 銀行宛
- ・送金取扱銀行名 _____ 銀行 _____ 支店より
- ・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「情報専門学科のコアカリキュラム—その内容、運用と問題点—」

シンポジウム開催について

「コンピュータと教育研究会」と「情報処理教育カリキュラム調査委員会」の共催による標記のシンポジウムを開催します。このシンポジウムは大学等における情報分野の専門教育のカリキュラム並びに個々の講義・実験・演習等の内容・方法・リソース等に関する実践経験の報告とそれに対する率直な討論を行い、専門的情報処理教育の質的向上を目指すものです。参加をご希望の方は、下記の要領にてお申し込みください。多数の方々のご参加をお待ちしております。

日時 平成3年12月13日(金)～14日(土) 9:30～17:00
場所 機械振興会館大ホール(地下2階)
参加費 会員10,000円, 非会員15,000円, 学生1,500円, 論文集のみ5,000円
 ＊参加費には、資料代が含まれています。
申込締切 平成3年11月22日(金)
申込先 106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル
 (社)情報処理学会「情報専門学科のコアカリキュラム」シンポジウム係

~~~~~プログラム~~~~~

第1日 (12月13日(金))

- 手作業とプログラミングによる整列の演習 (10:00～10:40) 野瀬 隆, 中森眞理雄 (農工大)
- 情報専門学科のコアカリキュラムのための日本語テキスト処理環境の整備 (10:40～11:20)
 牛島 和夫, 菅沼 明(九大), 堤 豊(有明高専), 日高 達 (九大)
 一休 憩 (11:20～11:30)ー

基調講演 (11:30～12:30)

- 情報処理教育における基本問題 野口 正一 (東北大)
 一昼 食 (12:30～13:30)ー

パネル討論 (13:30～17:00)

- 「コンピュータサイエンスの専門実験・演習」
 司会: 阿部 圭一(静岡大)
 パネリスト: 荒木啓二郎(九大), 辻野 嘉宏(阪大), 柴山 潔(京大), 小谷 善行(農工大)

第2日 (12月14日(土))

- 情報工学の教育におけるメタ工学 (10:00～10:40) 高橋 延匡 (農工大)
- ソフトウェア技術者の基礎教育 (10:40～11:20) 大岩 元 (豊橋技科大)
- ソフト屋の基礎訓練科目—多肢選択世代に捧ぐ— (11:20～12:00) 木村 泉 (東工大)
 一昼 食 (12:00～13:30)ー
- 女子短大における実践的情報処理教育の試み (13:30～14:10) 渋井二三男 (城西大女子短大部)
- 高専情報工学科のカリキュラムの内容、運用と問題点 (14:10～14:50)
 野澤 繁之, 竹下 鉄夫, 稲垣 宏 (豊田高専)
- 沼津高専における情報処理教育システム (14:50～15:30)
 松沢 照男, 魚住 薫, 青木 振一 (沼津高専)

「情報専門学科のコアカリキュラム—その内容、運用と問題点—」シンポジウム
参加申込書

平成3年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 1,500円

* 参加費には, 資料代が含まれています。

○資料のみ (5,000円, 送料込) _____冊

○送金方法 (該当するものを○でかこむ)

合計 _____円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____月 _____日送金します。

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945 | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632 |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899 | 6. 三和銀行東京公務部 21409 |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「1992 情報学シンポジウム」開催について

——ゲノムと情報科学——

日 時 1992年1月8日(水)～9日(木) 9:30～17:00

場 所 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線, 乃木坂駅下車)

背 景 本シンポジウムは, 科学における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため, データ・情報・知識に関する基本的問題を論じる場として, 1984年以來毎年開催されている。これまで, データ・情報・知識の獲得・蓄積・利用の問題について, 自然科学から人文科学まで多様な専門分野から発表が行われている。

共同主催 (予定) 日本学術会議 情報学研究連絡委員会
学術文献情報研究連絡委員会
学術データ情報研究連絡委員会
情報工学研究連絡委員会

情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知能学会, 日本生物物理学会

後 援 (予定) 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, ICOT

申込締切 12月20日(金) 当日受付もあるが, 資料不足の際は事前登場者を優先する。

申 込 先 情報処理学会 情報学シンポジウム係
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

参 加 費 (資料代として): 共催学協会員 5,000円, 学生 1,500円, 一般 7,000円

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 1月8日(水)

組織委員長挨拶 (9:20～9:30) 尾関 雅則(日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

セッション1 ゲノム研究の展望 座長 藤原 譲(筑波大)

(特別講演) ヒトゲノム解析計画と情報科学 (9:30～10:30) 松原 謙一(阪大)

— 休 憩 (10:30～10:40) —

座長 館野 義男(国立遺伝学研究所)

ゲノム情報のデータベース化の現状と問題点 (10:40～11:05)

久原 哲, 古川 哲也, 高木 利久(九大)

GDB(ゲノムデータベース)とネットワーク構想 (11:05～11:30)

諏訪 秀策, 宇津野宏二(日本科学技術情報センター), 清水 信義(慶大)

日本語ヒト遺伝子マッピングライブラリの設計 (11:30～11:55)

土肥 浩(東大), 蓑島 伸生, 清水 信義(慶大), 石塚 満(東大)

— 昼 食 (11:55～13:00) —

セッション2 高次構造の推論 座長 開原 成允(東大)

(招待講演) 生化学エキスパートシステムとドラッグデザイン (13:00～13:50)

梅山 秀明(北里大)

座長 北上 始(国立遺伝学研究所)

— 休 憩 (13:50～14:00) —

(招待講演) 演繹データベースシステム Adbis を応用した遺伝子
—蛋白質解析システム GENAS について (14:00~14:50)

高木 利久, 久原 哲, 古市恵美子, 二村 祥一, 松尾 文碩, 榑 佳之 (九大)
—休憩 (14:50~15:00)—

セッション 3 データベースの構築・利用 (1) 座長 吉田 郁三 (日立)
Overlapping Oligonucleotide Database の構築 (15:00~15:25)

坂本 憲広, 高木 利久, 佐藤 賢二, 榑 佳之 (九大)
蛋白質 2 次元電気泳動データベースの作成 (15:25~15:50)
加茂 正晴, 矢野 裕之, 次田 皓 (東理大)
—休憩 (15:50~16:00)—

セッション 4 データベースの構築・利用 (2) 座長 中川 優 (NTT)
ゲノムデータベース中の複合蛋白データベース (16:00~16:25)

沖林 文規, 国沢 隆, 加茂 政晴, 鈴木 陽子,
猪浦 裕子, 佐竹 一夫, 次田 皓 (東理大)
JOIS-F における DNA データベース検索システムについて (16:25~16:50)
水野 路子 (日本科学技術情報センター)
まとめ (16:50~17:00)

第 2 日 1 月 9 日 (木)

セッション 5 アルゴリズム・アーキテクチャ (1) 座長 岩野 和生 (日本 IBM)

3 次元ダイナミックプログラミングに基づいた蛋白質のアラインメントシステム
(9:30~9:55) 広沢 誠, 星田 昌紀, 石川 幹人, 戸谷 智之 (ICOT)
化学構造の最大共通部分構造の検出方法について (9:55~10:20) 阿久津達也 (機械技術研究所)
可変長符号圧縮データのための文字列パターン照合 —ゲノム情報の高速検索技法—
(10:20~10:45) 深町 修一, 篠原 武 (九工大), 竹田 正幸 (九大)
—休憩 (10:45~10:55)—

セッション 6 アルゴリズム・アーキテクチャ (2) 座長 石川 幹人 (ICOT)
Fast DNA Data Analysis System (10:55~11:20)

Richard H. Lussier (アップライドバイオシステムズジャパン)
タンパク質の二面角構造予測と予測規則の抽出 —ニューラルネットワークを用いた検討—
(11:20~11:45) 中山 伸一, 吉田 政幸 (図書館情報大)
対称相互結合型ニューラルネットワークにおけるエネルギー極小化現象を利用した高速な RNA
二次構造予測法 (11:45~12:10) 秋山 泰, 古谷 立美 (電総研)
—昼食 (12:10~13:10)—

セッション 7 遺伝情報 座長 安永 照雄 (理化学研究所)
(招待講演) ゲノムを中心とした大量遺伝情報の分子進化的解析 (13:10~14:00)

五條堀 孝 (国立遺伝学研究所)
ゲノム情報に基づく生物種固有代謝の解析 (14:00~14:25) 金谷 重彦, 工藤 喜弘 (山形大)
—休憩 (14:25~14:35)—

セッション 8 ゲノム解析 座長 菅原 英明 (理化学研究所)
(招待講演) ヒトゲノム解析自動システム (HUGA-1) (14:35~15:20)

遠藤 勲 (理化学研究所)
(招待講演) ヒトゲノム解析の推進方策について (15:20~15:50) 松尾 泰樹 (科学技術庁)
まとめと総括 (15:50~16:50)

「1992 情報学」シンポジウム
参加申込書

平成 3 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資料代（該当するものを○でかこむ）

共催学協会員 5,000 円 一般 7,000 円 学生会員 1,500 円

○懇親会費（3,000 円） _____ 名

○資料のみ（上記資料代） _____ 冊

○送金方法

* _____ 円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) _____ 月 _____ 日送金します。

*（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
（社）情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (3505) 0505）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京 4298739
営業部

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____ 銀行宛

・送金取扱銀行名 _____ 銀行 _____ 支店より

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

.....
(楷書でハッキリ記入してください)申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「第33回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これにつよい関心もち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々のご参加を希望します。

記

日 時 1992年1月8日(水) 午前10時 受付開始(この日の昼食は用意しません)
午後1時 開会

10日(金) 正午 閉会

場 所 箱根ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel. 0460(2)4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分

箱根湯本駅~小涌園前 約30分

タクシー: 小田原駅表口~小涌園前 約30分

箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参加費 (予稿集代, 宿泊費, 食費を含む。カッコ内は非会員参加費)

☆一般 35,000円(40,000円)

☆大学院学生 25,000円(30,000円)

※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1991年11月29日(金)

- 注) 1. 参加申し込み後やむをえず参加を取消される場合は12月17日(火)までにお願ひします。取消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 1月8日(水)

開会の辞 (13:00~13:15)

米田委員長

セッション1 (13:15~15:15)

- ・絵はねずみなしでも描けるか? 久野 靖, 大木 敦雄(筑波大), 角田 博保(電通大)
- ・アルゴリズムアニメーションシステム 金谷 延幸, 大野 敬史, 佐渡 一広(群馬大)
- ・航行めがねワールド: 反応する現実のビュー 大座畑重光(マッキンテリジェンス)

—休憩(15:15~15:35)—

セッション2 (15:35~17:35)

- ・もうひとつのCSCW, Computer Supported Competitive Work 梅村 恭司(NTT)
- ・コンピュータによる自己組織化のモデルをめざして 金田 泰(日立)
- ・コンピュータは生物情報処理をまねられるか? 田中 広明, 村田 典幸, 鎌田 富久(アクセス)

—夕食(18:00~19:00)—

自由討論

第2日 1月9日(木)

セッション3 (9:00~10:20)

- ・広域分散環境における動的なネットワーク接続実験の実演 村井 純, 加藤 朗, 楠本 博之(慶大), 稗田 薫(上智大)
- ・Mandala: An Interconnective network for a scalable Massively Parallel Computer Andrew Flavell, Yoshizo Takahashi(徳島大)

—休憩 (10:20~10:40) —

セッション 4 (10:40~12:00)

- ・計算演奏と主観評価—演奏モデル的接近— 田口 友康 (甲南大), 大串 健吾 (京都市立芸大)
- ・計算機によるピアノ演奏の 2, 3 の実験結果について
水田希世志, 丸山 和彦, 小宮山弘樹, 五十嵐 滋 (筑波大), 市中 康公 (ソニー)
—昼食 (12:00~13:20) —

招待講演 (13:20~14:35)

- ・「通信サービスとその技術」 鈴木 孝至 (NTT)

—休憩 (14:35~14:55) —

セッション 5 (14:55~16:55)

- ・ODA 道具箱を用いた日本語ワードプロセッサ SODA Write の開発
坂入 隆 (日本 IBM), 岸 和孝 (ぶらんにんぐとうわ), 斎藤 喜道 (日立),
若鳥 陸夫 (日本ユニシス)
- ・表示一体型タブレットを用いた計算機システムの構想 早川 栄一, 並木美太郎, 高橋 延匡 (農工大)
- ・ユーザ操作の再生機能を利用したユーザインタフェース評価の試み 来住 伸子 (日本 IBM)

報告 (16:55~17:30)

- ・若手の会, 夏のシンポジウム, GPCC, 山内賞の報告
—夕食 (18:00~19:00) —

自由討論**第 3 日 1 月 10 日 (金)****セッション 7** (9:00~10:20)

- ・構成的プログラミング言語 Maya の型理論的意味 木下 佳樹 (電総研)
- ・Process Dependence Net as a Representation for Concurrent Programs 程 京徳 (九大)

—休憩 (10:20~10:40) —

セッション 8 (10:40~12:00)

- ・協調アーキテクチャへ向けてのエージェントの会話モデル 中島 秀之 (電総研)
- ・Linda 並列プログラムの開発環境 木村 康則 (富士通研)

閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※自由討論, ポスターセッション, マイコン・ビデオデモ等を予定しています。参加ご希望の方はご用意ください。
※一般講演は, 発表 25 分, 討論 15 分, また招待講演は講演 60 分, 質問 15 分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

「第33回 プログラミング・シンポジウム」

参加申込書

1991年 月 日

1. 参加区分
- | | | | | |
|--------|--------------------------|--------------------------|------|-------|
| | 会員 | 非会員 | 会員番号 | _____ |
| ☆一般 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | |
| ☆大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | |

※参加区分は、該当の□の中に✓を入れて下さい。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金・支払い方法

a) 当日持参します。

b) 〒 _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 _____ 月 _____ 日)

- b-1) 現金書留 b-2) 郵便振替 (東京 5-83484) b-3) 銀行振込 (_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀行虎ノ門支店	1013945	富士銀行虎ノ門支店	993632
三菱銀行虎ノ門公務部	0000608	太陽神戸三井銀行東京営業部	4298739
住友銀行東京公務部	10899	三和銀行東京公務部	21409

名義人： 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

請求先名義 _____

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

- ◇年令は _____ 歳・内緒 男・女
- ◇宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望
- ◇そのほか特に希望があればご記入ください。(必ずその通りにすると約束はできません。)

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

- ◇夜の自由討論の希望テーマ _____
- ◇マイコン・ビデオデモなどの展示、発表希望 _____

5. 申し込み先 (下記まで郵送かFAXで送付のこと)

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係
〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03(3505)0505 Fax. 03(3584)7925

申込者
連絡先 (〒) _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex _____) Fax. _____

E-mail _____ (公開可能な方のみご記入下さい)

第6回「大学と科学」公開シンポジウム

「人工知能とニューロコンピュータ—人智に近づく情報処理—」プログラム

期 日 平成4年1月27日(月)～28日(火)
 会 場 経団連ホール(東京都千代田区大手町1-9-4 Tel. 03(3279)1411)
 参加費 無料
 問合せ先 100 東京都千代田区霞が関3-2-2 文部省学術国際局学術情報課気付
 第6回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会事務局
 Tel. 03(3581)4211 内2591

1月27日(月)

A. 挨拶(9:50～10:00)

第6回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会

B. 特別講演(10:00～11:00)

脳はどこまでわかったのか

C. ニューロコンピュータの現状と将来(12:00～15:00)

1. ニューロコンピューティングの展望
2. ニューラルネットによる学習制御
3. 学習と自己組織化

D. 学習と記憶をめぐる(15:15～17:00)

1. 記憶モデルと学習特性
2. 自己創出と記憶

文 部 省

司会 甘利 俊一(東大)

酒田 英夫(日大)

司会 塚田 稔(玉川大)

甘利 俊一(東大)

鈴木 良次(東大)

福島 邦彦(阪大)

司会 福島 邦彦(阪大)

篠本 滋(京大)

清水 博(東大)

1月28日(火)

E. 高度知的通信(9:45～11:45)

1. 高次コミュニケーションの基本問題
2. 知的アプローチに基づく新しい通信

F. 知的推論と高度知識システム(12:45～15:15)

1. 知的情報の表現と利用—自然言語処理を中心として—
2. 知的情報の学習と推論
3. 高度知的システムの構築

G. パネル討論(15:30～16:45)

人間に迫る知的情報処理—その課題と展望—

司会 村岡 洋一(早大)

野口 正一(東北大)

安田 靖彦(東大)

司会 堂下 修司(京大)

田中 穂積(東工大)

稲垣 康善(名大)

相磯 秀夫(慶大)

司会 安西祐一郎(慶大)

パネラ 池田 克夫(京大), 臼井 支朗(豊橋技科大), 杉江 昇(名大),
 當麻 善弘(東工大), 都倉 信樹(阪大)

「知能ソフトウェア工学の動向と展望」シンポジウム開催について

—AI とソフトウェア工学の統合—

知能ソフトウェア工学は、AI とソフトウェア工学の境界領域をカバーする学問領域である。本シンポジウムでは知能ソフトウェア工学における現在の技術を考察するとともに、将来の展望を明らかにすることを試みる。

日 時 1992年3月10日(火)～11日(水)
会 場 青山学院大学・総合研究所ビルディング 12階大会議室
(東京都渋谷区渋谷 4-4-25 Tel. 03 (3409) 8111)

プログラム概要

3月10日(火)

午 前	一般講演	午 後	基調講演 上野 晴樹 (東京電機大)
			一般講演
			懇親会 (予定)

3月11日(水)

午 前	招待講演 鯨坂 恒夫 (京大) 上原 邦昭 (神戸大) 古宮 誠一 (IPA)	午 後	パネルディスカッション 司会 白鳥 則郎 (東北大) パネリスト 鯨坂 恒夫 (京大) 上原 邦昭 (神戸大) 古宮 誠一 (IPA) 上野 晴樹 (東京電機大)
-----	--	-----	---

参加費 会員 10,000円, 非会員 20,000円, 学生 3,000円
申込締切 一般講演申込 1991年12月20日(金)
参加申込 1992年2月15日(土)

申込先, 問合せ先

電子メール, はがき, ファックスにて下記担当者宛にお申込みください。
980 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学電気通信研究所 布川 博士
e-mail : nunokawa@riec.tohoku.ac.jp FAX : 022 (263) 9848

主 催 電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会

共催・協賛 情報処理学会人工知能研究会 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会
日本ソフトウェア科学会 人工知能学会

会
告

小規模国際会議論文募集

会議名 将来型データベースシステムに関する極東ワークショップ
 Far-East Workshop on Future Database Systems FEW '92
日程 1992年4月26日(日), 27日(月), 28日(火)
場所 京都市 平安神宮 栖鳳殿(せいほうでん)
主催 情報処理学会 データベース・システム研究会
共催 オーストラリアコンピュータ学会

会議の主旨

本ワークショップは、会議は1992年8月にバンクーバで開催予定の「大規模データベース(VLDB)国際会議」の極東プログラム委員会と連続して開催されるもので、極東地区の代表的な研究者が集まる機会を利用して、より広範囲の研究者と研究交流をはかるために計画された。前回は1990年にメルボルンで「大規模データベース国際会議」のプログラム委員会のときに開催されている。本ワークショップは、高度なデータベースに関する研究交流だけでなく、発展しつつある極東地域の将来を考えた研究交流という意味でも重要で、情報処理学会が主催して2年に1回偶数年次に開催し、アジア地区を中心とした研究交流を行っている[高度応用のためのデータベースシステムに関する国際シンポジウム(DASFAA)]を小規模国際会議の形で補完する性質のものである。なお会議録は本の形で出版される予定である。

テーマ 高水準データモデル、演繹データベース、オブジェクト指向データベース、データベース設計、利用者インタフェース、マルチメディアデータベース、工学データベース、分散データベース、実時間データベース、データベースマシン、およびこれらの応用システム

論文応募要領

公用語 英語
 応募 英文フルペーパー(6000語まで)のコピー5部を下記住所に送付
 スケジュール 論文締切り **1991年12月1日**
 論文受理通知 1992年1月10日
 最終論文締切り 1992年2月1日

送付先等 606-01 京都市左京区吉田本町 京都大学工学部 高度情報開発実験施設 渡辺正子
 Tel. 075 (753) 5979 FAX 075 (753) 5965 e-mail: watanabe@kuis.kyoto-u.ac.jp

「1992 年並列処理シンポジウム JSPP '92」論文募集

コンピュータにおける並列処理の技術的な課題を対象として、基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用と広い範囲にわたって議論することを目的とした「並列処理シンポジウム JSPP」も、今回で4回目を迎えることとなります。これまで、日本における並列処理の中心的な研究交流の場の1つとして、ホットな話題を提供してきました。今回も、学際的な並列処理研究のなお一層の発展を目指して、並列処理に関する下記のようなテーマについて論文を募集いたします。ぜひ、多数ご応募ください。

● テーマ 並列処理技術や応用

- ・基礎理論、計算モデル、アルゴリズム
- ・人工知能応用
- ・プログラミング言語、言語処理系
- ・スーパーコンピュータティング
- ・オペレーティングシステム
- ・ニューロコンピュータティング
- ・アーキテクチャ
- ・光コンピュータティング
- ・データベース
- ・システム性能評価
- ・数値計算応用
- ・その他

● 日 時 1992年6月15日(月)～17日(水)

● 会 場 パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1)

● 主 催 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会、同・データベース研究会、
同・オペレーティングシステム研究会、同・アルゴリズム研究会、
同・プログラミング言語・基礎・実践一研究会、同・数値解析研究会、
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会

● 協 賛 日本ソフトウェア科学会

● 実行委員会 委員長 富田 眞治(京大)

副委員長 小池 誠彦(日電)、安村 通晃(慶大)

幹 事 天野 英晴(慶大)、柴山 潔(京大)、中田登志之(日電)

● 発表申込み方法

A4判4枚以内(題目/図表を含む)の発表概要(無記名、日本語か英語)6部に、A4判1枚の発表申込票(発表題目、発表者氏名/所属、3個程度のキーワード、連絡先の氏名/所属/〒番号/住所/電話番号/FAX番号/E-mail アドレス)を添えて、下記実行委員会・幹事までお申し込みください。実行委員会において審査を行い、採録するかどうかを決定します。

● 日 程 1992年1月10日(金) 発表申込み締切

1992年2月28日(金) 審査結果通知

1992年5月8日(金) カメラレディ原稿締切

● 発表申込み先(問合せ先)

606-01 京都市左京区吉田本町 京都大学工学部情報工学教室 柴山 潔

Tel. 075 (753) 5383 FAX 075 (753) 5379

E-mail: shibayam@kuis.kyoto-u.ac.jp

CG International 92 開催と 論文募集のご案内

-Call for Participation-

第10回コンピュータグラフィックスに関する国際会議、CG International'92が、来年6月、工学院大学を会場に開催されます。日頃の研究成果をこの機会にまとめ、ご投稿下さいますよう、ご案内申し上げます。

会議概要

場 所：工学院大学新宿校舎
日 時：1992年6月22～26日
テ マ："Visual Computing -Integrating Computer Graphics with Computer Vision-"
主 催：Computer Graphics Society
工学院大学
電気・電子情報学術振興財団
協 賛：情報処理学会
電子情報通信学会
ACM SIGGRAPH
British Computer Society
European Association for Computer Graphics
IEEE Computer Society

併設展示会：場所：新宿 NS ビル (地下1階中ホール)
日時：6月25日・26日

基調講演：岩崎昇三氏 (NTT 副社長)
招待講演：Stephen A. Benton 教授 (MIT Media Lab)
Henry Fuchs 教授

(North Carolina 大学 Chapel Hill 校)
Nadia Magnenat-Thalmann 教授
(ジュネーブ大学)
Nelson Max 博士 (ローレンスリバモア国立研究所)
中前栄八郎教授 (広島大学)
Azriel Rosenfeld 教授 (Maryland 大学)
Daniel Thalmann 教授
(スイス連邦工科大学ローザンヌ校)

論文募集要項 (Call for Papers)

会議のテーマである "Visual Computing" にふさわしいオリジナルな未発表論文をお寄せ下さい。

募集分野例

- ・ Visual modeling
- ・ Medical applications
- ・ Visual data structure
- ・ Manufacturing processes
- ・ Image synthesis
- ・ CAD/CAM/CIM
- ・ Pattern Recognition
- ・ Robotics
- ・ 3D model-based coding
- ・ Design
- ・ Standards
- ・ Visualization and integration
- ・ Parallelism and parallel algorithm
- ・ Geometric modeling
- ・ Hardware architectures
- ・ Networked applications

論文委員長：國井 利泰 (東京大学)
南 敏 (工学院大学)

分量：英文5000～10000語以内 (図表を含む)
カラー写真掲載可能
様式：A4用紙の片面にダブルスペースでタイプのこと
論文第1頁目下記項目を記載して下さい
題名、概要 (200語以内)、
キーワード (10語以内)、
著者氏名、役職名、所属、住所、
電話、Fax、テレックス番号、
電子メール宛先 (お持ちの方のみ)
投稿締切：平成4年1月15日 (水) 必着
採録決定：平成4年2月17日 (月)
論文のコピー6部を下記までご送付下さい。
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学理学部情報科学科
CGI'92 論文委員長
教授 國井 利泰宛
電話：03-3812-2111 (内線 4116)
Fax : 03-3818-4607
E-mail: kunii@is.s.u-tokyo.ac.jp

提案募集要項 (Call for Proposals)

論文委員会では、パネル討論、Industrial Seminar、ビデオによるプレゼンテーション、Tutorial Course の提案を公募しております。各募集要項は以下の通りです。

- (1) パネル討論：題名、司会者名、パネリスト名、
概要 (英文 200 語以内)
- (2) Industrial Seminar：
試作・商用システムのデモンストレーション
デモの題名、連絡先、必要な機材、
概要 (英文 200 語以内)
- (3) ビデオによるプレゼンテーション：最長5分
題名、連絡先、概要 (英文 200 語以内)
ビデオテープ：U-matic 3/4 インチか BetaCAM
- (4) Tutorial Course：半日程度のコース
題名、講師名、必要な機材、
概要 (英文 200 語以内)

提案締切：平成4年1月15日 (水) 必着

上記ご提案また会議全般に関するお問い合わせは下記まで。
〒180 武蔵野市緑町3-9-11

NTTヒューマンインタフェース研究所
知能ロボット研究部
高橋時市郎宛
電話：0422-59-2406 (直通)
Fax : 0422-59-2245
Internet: cgi92@nttarm.ntt.jp

English version of Call for Participation is available.

For more information contact:

Toki Takahashi, CGI'92 Conference Secretariat
NTT Human Interface Labs
3-9-11, Midori-Cho, Musashino, Tokyo 180
Tel : 0422-59-2406
Fax : 0422-59-2245
Internet: cgi92@nttarm.ntt.jp

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載は従来から有料で取扱い，協賛・後援行事については取扱っていないが，今後は協賛・後援行事についても希望があれば，下記により有料で掲載しますのでお知らせします。

なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。また，教官募集欄の掲載は，平成4年4月号掲載分から，下記のとおり有料となりますので，あわせてお知らせします。

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
行事次第書	国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る	1 ページ または 1/2 ページ	(共 催)
			1 ページ 50,000 円
		1/2 ページ 30,000 円	
		(協賛・後援)	
			1 ページ 100,000 円
			1/2 ページ 60,000 円
教職員募集	学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る	1/5 ページ	1 件当り 20,000 円

2. 申込方法

B5判任意の用紙で，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮少または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本誌会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

また，記事内容については本会は責任を負いません。

4. 申込期限

毎日15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月月末までにお支払いください。

6. 掲載申込先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 有料会告係
Tel. 03 (3505) 0505 FAX. 03 (3584) 7925

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊) および欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING” (略称 JIP・季刊) は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は学会誌目次欄に記載してあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

平成 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

会員 No. _____

1. 氏 名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 _____)

Tel. _____

送本先 (〒 _____)

(注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING” (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

3. 送金の方法

〒 _____ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 _____ 月 _____ 日)

a. 現金書留 b. 郵便振替 c. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

支部だより

中部支部 講演会

日時 平成3年12月5日(木) 13:30~15:30
 会場 豊橋技術科学大学 中講義室(A114) (豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1)
 演題 コンピュータの過去・現在・未来 萩原 宏(龍谷大)
 参加費 無料(参加資格は問いません)
 問合せ先 440 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1 豊橋技術科学大学 情報工学系
 Tel. 0532 (47) 0111 (内 522) 中川 聖一

見学会

日時 平成3年12月5日(木) 8:45~19:00
 見学先 中部電力(株)浜岡原子力発電所(静岡県小笠郡浜岡町佐倉 5561)
 集合場所 JR名古屋駅西口(MEDIA ONE 前)に8:45までに集合(時間厳守)
 行程(内容) 8:45 JR名古屋駅西口集合
 9:00 出発(貸し切りバス)
 12:30~16:00 見学(原子力館, 中央制御室, 原子炉棟)
 19:00(予定) JR名古屋駅西口解散
 参加資格 情報処理学会中部支部会員のみ
 参加費 無料
 定員 40名(先着順)
 申込方法 往復はがきに「浜岡原発見学会申込」と記入し, 会員番号, 氏名, 所属(役職), 連絡先住所, 電話番号, 服のサイズ(S, M, L, LL), 靴のサイズを明記のうえ, 下記事務局宛に送付。
 申込締切 11月25日(月)必着
 問合せ先 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
 情報処理学会中部支部事務局 Tel. 052 (204) 4517 水野

講演会

日時 平成3年12月11日(水) 13:30~15:30
 会場 中部電力(株)中電ビル本館5階 5-1 会議室(名古屋市東区東新町 1)
 演題 電力システムの監視制御 矢田 公一(中部電力)
 *講演会終了後(15:30~16:30), 中央給電指令所の見学会を実施します。
 参加費 無料(参加資格は問いません)
 問合せ先 467 名古屋市中区大須 4-10-32 上前津 KD ビル7階
 中部電力(株)システム開発部総合システムグループ Tel. 052 (252) 5130 熊田

関西支部 ソフトウェア研究会

日時 平成3年12月6日(金) 13:00~17:00
 会場 (財)関西情報センター会議室(大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階)
 定員 約50名
 資料代 600円
 テーマ 「ネットワークの構築事例と展望」
 (1) 大学におけるネットワークの利用 石橋 勇人(京大)
 (2) 製造企業における大規模ネットワークの利用事例 未定(ENICOM)
 (3) 流通業におけるネットワークの利用例 児玉 通夫(日本電気)
 (4) パソコンによる電子メール 中村 明(NIFTY)

(5) 21世紀の公衆網とその利用

井上 英也 (NTT)

(6) 総合討論

問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

数値解析研究会

日時 平成3年12月7日(土) 14:00~17:40
会場 大阪工業大学記念館 セミナー室A(2F)(大阪市旭区中宮 5-16-29)
 大阪市バス「城北公園前」下車徒歩5分

プログラム

- (1) 非破壊検査システムにおけるコンピュータトモグラフィとパラメータ推定問題
小島 史男 (大阪工業大)
- (2) 自由表面を有する熱対流モデルの数値解析 今井 仁司, 周 偉 東, 名取 亮 (筑波大)
- (3) 電子デバイス実装基板の確率有限要素熱変形解析
谷 周一, 吉岡 純夫, 上貝 康己 (三菱電機)
- (4) 非対称行列のSOR法 石原 和夫 (大阪女子大)

若手研究会 上記研究会の翌日(12月8日(日)),同じ会場で大学院生を中心とした若手の研究会を開催します。
詳しくは後日ご案内します

参加費 無料

懇親会 12月7日(土)の研究会終了後(17:50~)大阪工業大学内で開催します。
 会費:5,000円(学生3,000円)

宿泊 ご希望の方は、大阪工業大学の宿泊施設を利用できます(有料)。

申込方法 研究会・若手研究会のみに参加される方は、事前の申込みは不要です。懇親会への参加、宿泊を希望される方は、①申込みの区別(a:懇親会のみ, b:懇親会及び宿泊)、②氏名、③所属、④連絡先(所属住所、電話、FAX)をご記入のうえ、FAXまたは手紙で11月末日までに下記あてお申込みください。

申込・問合せ先

535 大阪市旭区中宮 5-16-1 大阪工業大学一般教育科 友枝 謙二
 Tel. 06 (952) 3131 (内 3841, 3800) FAX 06 (952) 6101

九州支部 情報処理九州シンポジウム

—ヒューマン・インタフェースとヴィジュアル化—

シンポジウムを下記の要領にて開催いたします。多数のご参加をお願いします。(九州地区外からの聴講も歓迎します。)各講師の方々には、ご自分の最先端の研究ばかりでなく、斯界の研究状況などもやさしくお話しいただく予定です。

日時 1991年12月5日(木) 10:00~17:00
場所 九州大学国際ホール(福岡市東区箱崎 6-10-1 箱崎キャンパス)

プログラム

マルチメディア・ヒューマンインタフェース	小林 幸雄 (NTT)
プログラミングにおけるアイコン利用	平川 正人 (広 大)
プログラム可視化	市川 至 (富士通研)
仮想作業空間における3次元形状操作	篠原 克也 (NEC)
コンピュータビジョンのための並列処理	谷口倫一郎 (九 大)

参加費 会員 3,000円(学生 1,000円) 非会員 4,000円(学生 1,500円)

申込先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学中央計数施設内
 情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101 (内 5985 (木原))
 なお、11月30日までに現金書留か、銀行振込でご送金ください。
 福岡銀行箱崎支店 普 1313695 情報処理九州シンポジウム

No. _____

情報処理九州シンポジウム参加申込書

氏名

所属

住所

電話番号

参加区分 () 会員 ¥3,000 () 非会員 ¥4,000
 () 学生会員 ¥1,000 () 学生非会員 ¥1,500

送金区分 a. 現金書留 b. 銀行振込 (○印)

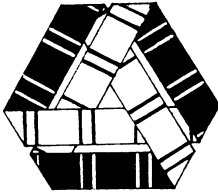
本会協賛等の行事案内*

- 第 45 回 産業用ロボット利用技術講習会
 平成 3 年 10 月 24 日 (木)～25 日 (金) 大阪府・社会福祉会館
 平成 3 年 10 月 31 日 (木)～11 月 1 日 (金) 東京・日刊工業新聞社
- 第 12 回 全日本マイクロマウス大会
 平成 3 年 11 月 23 日 (土)～24 日 (日) 東京・大森ベルポートアトリウム
- 第 181 回 講習会「ここまでできるパソコン FA」
 平成 3 年 12 月 13 日 (金) 東京・麴町会館
- シンポジウム「高度情報化時代の情報処理技術者」
 平成 4 年 1 月 21 日 (火)～22 日 (水) 大阪・三田出版会
- 第 6 回「大学と科学」公開シンポジウム
 平成 4 年 1 月 27 日 (月)～28 日 (火) 東京・経団連ホール
- システム制御情報チュートリアル講座「ファジィ概念の基礎と応用」
 平成 4 年 2 月 3 日 (月), 5 日 (水), 7 日 (金), 12 日 (水), 14 日 (金) 大阪マーチャングाइズマートビル
- 第 41 回 システム制御情報講習会「H[∞] 制御の基礎」
 平成 4 年 2 月 6 日 (木)～7 日 (金) コミュニティプラザ大阪
 平成 4 年 2 月 13 日 (木)～14 日 (金) 東京・ダイヤモンド社
- 第 24 回 講習会日本ロボット学会／電子情報通信学会ジョイントセミナー「ロボットと優しくつきあうコミュニケーション技術」
 平成 4 年 2 月 14 日 (金) 東京・家の光会館
- 第 8 回ソフトウェアコンファレンス
 平成 4 年 3 月 13 日 (金) 大阪・科学技術センター
- 第 8 回ファジィシステムシンポジウム
 平成 4 年 5 月 26 日 (火)～28 日 (木) 広島・国際会議場
- 第 22 回 信頼性・保全性シンポジウム
 平成 4 年 6 月 8 日 (月)～10 日 (水) 東京・農協ビル

* 詳細は本号会議案内欄参照

会 誌

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

FAIST '92—Fielded Applications of Intelligent Software Technologies (074)

- February 5-7, 1992
- Toulouse-Labege, France
- Image International Innopolis Hall A-voie 1-BP 413, 31 314 LABEGE Cédex-FRANCE
Tel.: (33) 61 39 06 76/FAX: (33) 61 39 24 31

3rd EUROGRAPHICS Workshop on Visualization in Scientific Computing (075)

- April 27-29, 1992
- Viareggio, Italy
- 国内連絡先：東京大学精密機械工学科 富山 哲男
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6454), FAX 03 (3812) 8849
- Deadline for papers: February 1, 1992

1992 Symposium on VLSI Technology (076)

- 1992年6月1日(月)～4日(木)
- ワシントン州・シアトル
- 日本学会事務センター 応用物理学会 VLSI シンポジウム委員会 Tel. 03 (3817) 5831
- 論文締切: 1992年1月7日(火)

1992 Symposium on VLSI Circuits (077)

- 1992年6月4日(木)～6日(土)
- ワシントン州・シアトル
- 日本学会事務センター 応用物理学会 VLSI シンポジウム委員会 Tel. 03 (3817) 5831
- 論文締切: 1992年1月7日(火)

Computer Graphics Int'l. '92 (078)

- 1992年6月22日(月)～26日(金)
- 工学院大学新宿校舎
- 共催: コンピュータグラフィックス学会, 工学院大学, (財)電気・電子情報学術振興財団
国内連絡先: NTT ヒューマンインタフェース研究所知能ロボット研究部 高橋時市郎
Tel. 0422 (59) 2406, FAX 0422 (59) 2245

Int'l. Workshop on Modern Geometric Computing for Visualization (079)

- 1992年6月29日(月)～30日(火)
- 工学院大学(東京)
- 東京大学理学部情報科学科 國井 利泰
Tel. 03 (3812) 2111 (内 4116), FAX 03 (3818) 4607
- 論文締切: 1992年2月1日

AIENG92—The 7th Int'l. Conf. on Artificial Intelligence in Engineering (080)

- July 14-17, 1992
- Ontario, Canada
- 国内連絡先: 東京大学精密機械工学科 富山 哲男
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6454), FAX 03 (3812) 8849

IIZUKA '92—第2回 ファジィ論理と神経ネットワークに関する国際会議 (081)

- 1992年7月17日(金)～22日(水)
- 九州寿会館(福岡県飯塚市)
- (財)ファジィシステム研究所 山川 烈
Tel. 0948 (24) 2771 FAX 0948 (24) 3002
- 論文締切: 1992年1月15日

3rd Int'l. Conf. the 1992 Factory Automation (082)

- July 27-29, 1992
- UK
- Conference Services The Institution of Electrical Engineers Savoy Place London WC2R 0BL United Kingdom
Tel. 071 240 1871 Ext. 222, Telex. 261176 1EE LDNG, FAX 071 497 3633

1st Int'l. Conf. on Intelligent Systems Engineering (*071)

- August 19-21, 1992
- Edinburgh, UK
- ISE 92 Conference Services The Institution of Electrical Engineers Savoy Place London WC2R 0BL United Kingdom
Tel. 071 240 1871 Ext.: 222, Tx. 261176 IEELDNG FAX 071 497 3633

CONAI 92—The 5th National Congress on Industrial Automation, The 1st Int'l. Congress on Automation (083)

- September 21-25, 1992
- São Paulo, Brazil
- SUCESU SÃO PAULO RUA TABAPUÁ, 627-1º. ANDAR CEP 04533-SAO PAULO-BRAZIL
Tel. 55 11 852. 2144, FAX 55 11 853. 8376
- Deadline for submission of abstracts: March 31, 1992

3rd Eurographics Workshop on Object-Oriented Graphics (084)

- October 28-30, 1992
- Champery, Switzerland
- 国内連絡先: 東京大学精密機械工学科 富山 哲男
Tel. 03 (3812) 2111 (内 6454), FAX 03 (3812) 8849
- Deadline for paper submission: May 31, 1992

13th Annual Int'l. Conf. on Information Systems
(085)

1. December 13-16, 1992
2. Dallas, Texas, USA
3. 論文送付先: Dr. Joyce Elam Decision Sciences and Information Systems Florida International University University Park Miami, Florida 33199 USA
Tel. 305 (348) 2719, E-Mail. ELAMJ@SERVAX
FAX 305 (348) 3278
4. Submission Deadline: March 9, 1992

地球環境会議 国際シンポジウム '91 (086)

1. 1991年12月16日(月)~18日(水)
2. パシフィコ横浜
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部「地球環境会議'91」運営事務局
Tel. 03 (3243) 9082, FAX 03 (3243) 9086

The 2nd Int'l. Conf. on Parallel Image Analysis
(087)

1. 1992年12月21日(月)~23日(水)
2. 宇部市
3. 755 宇部市常盤台 山口大学工学部 井上 克司
Tel. 0836 (31) 5100, FAX 0836 (34) 0624
4. 講演申込締切: 1992年3月1日

EPE '93-5th European Conf. on Power Electronics and Applications
(088)

1. September 13-17, 1993
2. Brighton, UK
3. EPE '93 Secretariat, IEE Conference Department, Savoy Place, London WC2R 0BL, UK
Tel. (0) 71 240 1871 Ext. 222, FAX (0) 71 497 3633

国内会議

第66回 科学技術情報流通技術基準 (SIST) 普及説明会

1. 平成3年11月19日(火)
2. 千代田生命高松ビル(高松市寿町)
3. 科学技術庁科学技術振興局 科学技術情報課 牛嶋 一郎
Tel. 03 (3581) 5271 (内 544), FAX 03 (3595) 0567
4. 参加費: 無料

第12回 全日本マイクロマウス大会

1. 平成3年11月23日(土)~24日(日)
2. 大森ベルポートアトリウム(東京都品川区南大井)
3. (財)ニューテクノロジー振興財団
Tel. 03 (3504) 1323, FAX 03 (3504) 1310
4. 入場無料

第181回 講習会「ここまでできるパソコン FA」

1. 平成3年12月13日(金)
2. 麴町会館(東京都千代田区平河町)
3. (社)精密工学会
Tel. 03 (3362) 1979, FAX 03 (3367) 0994
4. 参加費: 会員 28,000円, 非会員 34,000円, 学生会員 無料
申込締切: 平成3年12月6日(金)

シンポジウム「高度情報化時代の情報処理技術者」

—情報処理技術者の評価・育成の実践的方法—

1. 1992年1月21日(火)~22日(水)

2. 三田出版会(大阪市北区中崎西)
3. システム制御情報学会 シンポジウム係
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 参加費: 会員 8,000円, 学生 4,000円, 非会員 11,000円

第6回「大学と科学」公開シンポジウム「人工知能とニューロコンピュータ 一人智に近づく情報処理—」

1. 平成4年1月27日(月)~28日(火)
2. 経団連ホール(東京都千代田区大手町)
3. 文部省学術国際局学術情報課気付 第6回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会事務局
Tel. 03 (3581) 4211 (内 2591)

システム制御情報チュートリアル講座イーブンニングスクール(J)コース「ファジィ概念の基礎と応用」

1. 1992年2月3日(月), 5日(水), 7日(金), 12日(水), 14日(金)
2. 大阪マーチャンダイズマートビル(大阪市中央区京橋)
3. システム制御情報学会 チュートリアル講座係
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員 25,000円, 学生 20,000円, 非会員 35,000円

第41回 システム制御情報講習会「H[∞] 制御の基礎」

1. 2. 大阪: 1992年2月6日(木)~7日(金)
コミュニティプラザ大阪(大阪市福島区福島)
- 東京: 1992年2月13日(木)~14日(金)
ダイヤモンド社(千代田区霞ヶ関)
3. システム制御情報学会 講習会係
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員 30,000円, 学生 15,000円, 非会員 40,000円

**第24回 講習会日本ロボット学会/電子情報通信学会
ジョイントセミナー「ロボットと優しくつきあうコミュニケーション技術」**

1. 1992年2月14日(金)
2. 家の光会館(東京都新宿区)
3. (社)日本ロボット学会 講習会係
Tel. 03 (3812) 7594, FAX 03 (3812) 4628
4. 参加費: 会員 20,000円, 学生会員 4,000円, 非会員 30,000円

第8回 ソフトウェアコンファレンス

1. 平成4年3月13日(金)
2. (財)大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町)
3. (財)大阪科学技術センター 情報振興部 堀江, 牛川
Tel. 06 (443) 5321, FAX 06 (443) 5319

第8回 ファジィシステムシンポジウム 一人間とファジィ理論の統合—

1. 1992年5月26日(火)~28日(木)
2. 広島国際会議場(広島市中区中島町)
3. 日本ファジィ学会(SOFT)事務局
Tel. 045 (212) 8253
4. 演題申込締切: 1992年2月10日(月)

第22回 信頼性・安全性シンポジウム—信頼性活動の国際的拡がり

1. 平成4年6月8日(月)~10日(水)
2. 農協ビル(東京・大手町)
3. (財)日本科学技術連盟 第2事業部 R&MS 係
Tel. 03 (5379) 1222

教官募集



○大学等情報関係教官募集

立教大学一般教育部自然科学科

募集人員 教授、助教授または講師 1名
 担当科目 主として文科系学生を対象とする情報科学（いわゆる一般情報教育）週5コマ（10時間）を担当。
 専門分野 情報科学（情報工学を含む、なお出身学科の如何を問わない）。
 応募資格 大学院修士課程修了後引き続き3年以上の教歴または研究歴を有する者。博士課程修了者が望ましい。
 採用予定 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書（高卒以上の学歴、所属学会並びに学会その他における活動を記入、研究業績リスト、研究業績のうち主要なもの5編以内の別刷（コピー可）、研究計画および一般教育課程の情報科学教育に対する抱負（それぞれ1,000字以内）、推薦状（ただし可能な場合）。
 応募締切 平成3年11月30日
 送付先 171 豊島区西池袋 3-34-1
 立教大学一般教育部長 鈴木正男
 問合せ先 同上 部長室
 問合せはすべて郵送でお願いします（宛先明記の返信用封筒を同封のこと）。
 「情報科学教員応募書類在中」と朱書きし、書留。

職業訓練大学校情報工学科

募集人員 助教授又は講師 1名
 所属 情報工学科
 専門分野 情報工学又は電子工学
 応募資格 概ね40歳以下で知識情報処理、自然言語処理、データベース、コンピュータネットワーク、その他ソフトウェア関連分野に研究業績のある者。
 着任時期 平成4年4月1日予定
 提出書類 履歴書、業績一覧表、主要論文別刷
 応募締切 平成3年11月30日
 送付先 229 相模原市橋本台4丁目1番1号
 職業訓練大学校 総務課職員係
 問合せ先 同上 情報工学科 足原 修
 Tel. 0427 (61) 2111 (内 467)

和歌山大学教育学部

募集人員 教授または助教授 1名
 所属 生産科学課程
 専門分野 プログラミング言語、人工知能、知識工学、図形処理特論等の一部の科目を担当。
 応募資格 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の学識があるとみられる者。
 採用予定 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績目録、著書・論文等の現物または写し、自己の業績に関する説明書（その研究分野における位置づけを明記すること）、他薦の場合は推薦書。
 応募締切 平成3年11月30日
 送付先 640 和歌山市栄谷 930
 和歌山大学教育学部長
 問合せ先 同上教育学部 庶務係 0734 (54) 0361 (内 5103)

または情報処理教官選考委員長 桶久成智
 (内 5352)

「教官応募（情報処理）関係書類在中」と朱書きし、書留。

福岡工業大学工学部管理工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 所属 管理工学科
 専門分野 確率統計、数理経済の分野（基礎から応用まで幅広く考えております）。
 担当科目 管理基礎学または社会システム工学（統計学、経済統計論など）。
 応募資格 専門分野に研究業績があり、博士の学位を有する者、または着任時までに取得確実な者で、教育経験のある者が望ましい。教授は年齢55歳以上の者。助教授は年齢35歳以下の者。
 大学院（修士課程・計画中）の研究指導が可能な者。
 着任時期 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷。
 応募締切 平成3年11月30日
 提出先 福岡工業大学 教務課長 石田 隆男
 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1
 092 (606) 3131 (内 2242)

問合せ先 福岡工業大学管理工学科主任 庄司文啓 (内 2334)

茨城大学工学部情報工学科

募集人員 教授、助教授（講師）、助手若干名
 専門分野 (1) OS、ソフトウェア一般、アーキテクチャ、人工知能、情報システムにおける知識処理、(2) 情報工学一般（分野を問わず）。
 応募資格 情報工学または関連分野での博士号を有すること。助手は修士以上。教授は大学院博士課程の研究指導ができること。（教育的配慮より自らプログラム例を作れること。）応募の職名を明記すること。
 着任時期 平成4年4月1日から平成4年10月1日の間
 提出書類 履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷、研究計画、本人についての所見を求め得る方2名の氏名、所属とその住所、職名、電話番号。
 応募締切 平成3年11月30日
 送付先 316 日立市中成沢町 4-12-1
 茨城大学工学部情報工学科主任 松山泰男
 Tel. 0294 (35) 6101 (内 389) 直 0294 (35) 2658
 e-mail: opening@ibaraki.ac.jp

常葉学園浜松大学経営情報学部

募集人員 助手若干名
 所属 経営情報学科
 専門分野 情報処理
 担当科目 研究、プログラム言語（COBOL、FORTRAN、PASCAL、C言語）の演習補佐等。
 応募資格 大学卒業以上またはこれに準ずる能力があると認められる者で、採用時30歳ぐらゐまで。浜松市あるいはその周辺に居住できること。
 採用予定 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書、推薦書、研究業績一覧表、成績証明書、卒業（見込）証明書または修了書。
 応募締切 平成3年12月10日
 送付先 431-21 浜松市都田町 1230
 常葉学園浜松大学学長
 問合せ先 同上 事務局長 Tel. 053 (428) 3511 (代)
 「教官応募書類在中」と朱書きし、書留。

東京電機大学理工学部情報科学科

募集人員 助教授または講師若干名（40歳位まで）
 専門分野 計算機科学（特に、計算機数学、人工知能、数式処理、ソフトウェア工学）、システム情報論（特に、信号理論、パターン認識論、システム理論）、情報通信（特に、通信理論、画像認識論、コンピュータビジョン）。

応募資格 博士の学位を有し、特に数理的側面から上記いずれかの分野で顕著な研究業績のある者。
 着任時期 平成4年4月1日または10月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(学会および社会における活動も含む)、主要論文別刷、可能ならば推薦書または本人について所見を求め得る方1~2名の氏名および連絡先。
 応募締切 平成3年12月14日
 送付先 350-03 埼玉県比企郡鳩山町
 東京電機大学工学部情報科学科長 本尾 実
 問合せ先 同上 一松 信 または 稲葉 博
 Tel. 0492 (96) 2911, FAX 0492 (96) 6403

愛媛大学工学部情報工学科

募集人員 助教または講師
 所属講座 計画情報工学講座
 専門分野 計画数学, 統計数学, OR
 着任時期 平成4年4月1日予定
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 論文別刷等, 今までの研究の内容と今後の研究計画, 推薦書。
 応募締切 平成3年12月20日
 送付先 790 松山市文京町3
 愛媛大学工学部情報工学科教室 猪狩勝寿
 「教官応募書類在中」と朱書し, 書留。

鈴鹿工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 (1)教授, 助教または講師1名, (2)助手1名
 専門分野 情報工学または電子工学
 応募資格 (1)は博士の学位または同等の研究業績を有し, 高専における教育, 研究に熱意のある者。
 (2)は大学院修士課程修了または同等の学力を有し, 高専における教育, 研究に熱意のある者(年齢30歳未満が望ましい)。
 着任時期 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷
 応募締切 平成3年12月28日
 送付先 510-02 鈴鹿市白子町
 鈴鹿工業高等専門学校庶務課人事係
 問合せ先 同上 電子情報工学科主任 奥井重彦
 Tel. 0593 (86) 1031
 「電子情報工学科応募書類在中」と朱書し, 書留。

神戸山手女子短期大学

募集人員 講師または助教1名
 所属 生活学科
 専門分野 情報関連分野
 担当科目 情報処理入門, 生活学演習, 生活学入門演習, 生活情報処理実習
 応募資格 大学院修士課程修了者または, それ以上の教育研究歴を有する者。
 着任時期 平成4年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績目録, 主要論文の別刷またはコピー(博士または修士論文を含む), 研究業績概要(1,200字程度)。
 応募締切 平成4年1月15日
 送付先 650 神戸市中央区諏訪山町3番1号
 神戸山手女子短期大学学長 紀仲 晋
 問合せ先 同上 生活学科主任 安倍 史子
 Tel. 078 (341) 6060
 「情報処理教員応募書類在中」と朱書し, 書留。

名古屋文理短期大学情報処理学科

募集人員 助手または講師1名
 専門分野 情報処理関連分野
 担当科目 プログラム演習または情報処理関連科目
 応募資格 大学院修士課程修了または同等以上の教育, 研究歴のある者。
 提出書類 履歴書, 研究業績および社会における活動等のリスト, 研究論文別刷等。

応募締切 平成4年1月17日
 送付先 492 愛知県稲沢市稲沢町前田365 名古屋文理
 問合せ先 短期大学総務課長 Tel. 0587 (23) 2400
筑波技術短期大学情報処理学科
 募集人員 助手若干名
 所属 情報処理学科
 専門分野 情報処理または関連分野
 応募資格 専門分野に業績があり, 視覚障害者の教育・研究に熱心な者。
 着任時期 平成4年4月1日以降(ただし, 平成4年度予算において定員措置が成立した場合)。
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 推薦書(自薦の場合は, 本人について所見を求め得る人2名の氏名と連絡先(適宜の書式で可))。
 応募締切 平成4年2月8日
 送付先 305 つくば市春日4-12
 筑波技術短期大学情報処理学科 山香英三
 問合せ先 Tel. 0298 (52) 2890, FAX 0298 (56) 5590
 「教官応募書類在中」と朱書のこと。

雑報



○第7回(平成3年度後期)国際コミュニケーション基金の助成・援助募集

対象 国際電気通信の普及・発展と国際間のコミュニケーションの促進を図り, 世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的とし, 次の事業に対し, 助成・援助を行います。
 I. 国際電気通信に寄与する調査研究
 II. 国際電気通信に関する国際会議の開催
 III. 国際電気通信に関する国際会議への参加
 IV. 国際間コミュニケーションを促進する社会的・文化的諸活動
 平成4年4月から平成5年9月末までに開催, 実施および参加のものを対象とします。ただし, Iについては1年~3年とします。
助成・援助金額
 I. 1件あたり300~1,000万円程度。
 II. 1件あたり最高300万円まで。
 III. 海外で開催される国際会議への日本からの参加者または日本で開催される国際会議への海外からの参加者とし, 1名あたり最高50万円まで。
 IV. 1件あたり最高200万円まで。
申込期間 平成3年11月1日(金)~11月30日(土)
問合せ先 163 新宿区西新宿 2-3-2
 (財)国際コミュニケーション基金 Tel. 03(3347)7094

